

# 浦安市子ども・子育て支援事業計画 に関する基礎調査報告書



平成 26 年 3 月



浦安市



# 目 次

<b>第1部 調査概要</b>	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法等	1
3. 報告書の見方	1
4. 調査回答者	2
<b>第2部 就学前児童保護者</b>	5
1. お住まいの地区について	5
2. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について	5
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	7
4. 保護者の就労状況について	10
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用について	16
6. 地域の子育て支援事業の利用状況等について	23
7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	25
8. 病気の際の保育について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	27
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用について	31
10. お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方について	35
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	38
12. 子育てについて	45
<b>第3部 小学1～4年生保護者</b>	55
1. お住まいの地区について	55
2. ご家族の状況について	55
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	57
4. 保護者の就労状況について	60
5. 児童育成クラブの利用状況について	66
6. 地域の子育て支援事業の利用状況等について	71
7. 放課後や土曜日の過ごし方について	72
8. 病気の際の看護について	75
9. 不定期な預かり事業の利用について	78
10. 子育てについて	81
11. あて名のお子さんの将来のことについて	90
<b>第4部 小学5年生、6年生</b>	93
1. 回答者の属性	93
2. ふだんの過ごし方について	96
3. 児童育成クラブについて	99
4. 友だちとのつきあいについて	101
5. 学校生活について	101
6. 遊び場などについて	103
7. 地域での活動について	104
8. 不安や悩みについて	107
9. お父さん・お母さんについて	108
10. 将来について	108
11. 健康や保健に関することについて	110

<b>第5部 市民</b>	111
1. あなたとご家族の状況について	111
2. あなたの仕事や生活等について	115
3. 実際のあなたの結婚や子育てについて	118
4. 少子化について	123
5. 子どもや子育てに関することについて	124
6. 子育て環境について	127
7. 浦安市子育て支援総合計画について	130
<b>第6部 妊婦アンケート</b>	133
1. あなたのことについて	133
2. 仕事や生活などについて	136
3. 妊娠中の日常生活について	140
4. 妊婦健診について	143
5. 少子化について	144
6. 必要な子育て支援施策などについて	146
<b>第7部 ウェブアンケート</b>	147
1. あなたご自身のことについて	147
2. 中学生以下の子どもの年齢	148
3. お住まいの都市の子育て支援の施策・事業への満足度	149
4. 子育て支援の取り組みの充実している都市	150
5. 浦安市で子育てすることになったら	150
<b>第8部 自由記述意見</b>	151
1. 小学5～6年生本人の希望や意見	151
2. 市民及び妊婦の声	152
3. 就学前児童及び小学校1～4年生保護者の声	153
<b>第9部 グループヒアリング</b>	157
1. 浦安保育フォーラム	157
2. 浦安地区公立幼稚園PTA連絡協議会	162
3. お助けねっと・こんぺいとう	163
4. おやこの広場・ほこほこ	165
5. こども発達センター	167
<b>資料編 調査票</b>	169
1. 就学前児童保護者	169
2. 小学1～4年生保護者	184
3. 小学5年生、6年生	195
4. 市民	201
5. 妊婦アンケート	209
6. ウェブアンケート	215

# 第 1 部 調査概要

---



# 第1部 調査概要

## 1. 調査の目的

幼児期の教育・保育や地域の子ども・子育て支援を総合的に進めていく新しい仕組みとして、平成27年度より子ども・子育て支援新制度が開始されることに伴い、本市では、平成27年度から31年度までの5年間を計画期間とした「子ども・子育て支援事業計画」を策定する予定です。

この新たな計画の策定に向けて、子育て家庭における教育・保育、その他地域子育て支援事業の需要量や子育てに関する意識、意向等を把握し、計画策定の基礎資料とする目的から本調査を実施しました。

## 2. 調査の方法等

	就学前児童 保護者	小学1～4年生 保護者	小学5・6年生	市民	妊婦 アンケート	ウェブ アンケート
①対象	浦安市に居住する就学前児童の保護者	浦安市に居住する小学1～4年生までの児童の保護者	各地区（元町・中町・新町）1校ずつ、計3校の児童	18歳～65歳までの市民	「ウェルカム！ベイビークラス」受講者	浦安市、市川市、船橋市、江戸川区に居住する15歳までの児童の保護者
②方法	郵送配布・郵送回収 礼状兼依頼はがき送付	郵送配布・郵送回収 礼状兼依頼はがき送付	学校を通じて 配付・回収	郵送配布・郵送回収 礼状兼依頼はがき送付	教室参加時に 配付・回収	ウェブアンケート方式 ※
③回収	配布 1,300 有効回収 712 回収率 54.8%	配布 800 有効回収 461 回収率 57.6%	配付 484 有効回収 477 回収率 98.6%	配布 2,000 有効回収 853 回収率 42.7%	配付 102 有効回収 102 回収率 100%	各都市 100 計 400 回収率 100%

※ ウェブアンケート方式：株式会社ネオマーケティングが運営するアンケート専門サイト「アイリサーチ」を用いた調査

## 3. 報告書の見方

- ①集計結果の％は、小数点第2位を四捨五入し、第1位までの表記としている。したがって、合計が100％に満たないまたは100％を超える場合がある。
- ②複数回答の質問は、集計結果の合計が100％を超えることがある。
- ③無回答には、無効回答（選んだ選択肢の判別が困難なもの、択一回答の設問で複数の選択肢を選んでいるものなど）が含まれる。
- ④ n は、各設問における回答者数である。

## 4. 調査回答者

### ①就学前児童保護者向け調査

	回答者	
	実数 (人)	構成比 (%)
全体	712	100.0
25年度生	61	8.6
24年度生	97	13.6
23年度生	90	12.6
22年度生	114	16.0
21年度生	105	14.7
20年度生	125	17.6
19年度生	114	16.0
無回答	6	0.8
元町地域	263	36.9
中町地域	220	30.9
新町地域	223	31.3
無回答	6	0.8

### ②小学1～4年生保護者向け調査

	回答者	
	実数 (人)	構成比 (%)
全体	461	100.0
1年生	121	26.2
2年生	126	27.3
3年生	90	19.5
4年生	124	26.9
無回答	0	0
元町地域	114	24.7
中町地域	164	35.6
新町地域	183	39.7
無回答	0	0

### ③小学5・6年生向け調査

	回答者	
	実数 (人)	構成比 (%)
全体	477	100.0
5年生	230	48.2
6年生	246	51.6
無回答	1	0.2

④市民向け調査

	回答者	
	実数 (人)	構成比 (%)
全体	853	100.0
元町地域	279	32.7
中町地域	300	35.2
新町地域	272	31.9
無回答	2	0.2

⑤妊婦アンケート

	回答者	
	実数 (人)	構成比 (%)
全体	102	100.0
元町地域	56	54.9
中町地域	29	28.4
新町地域	17	16.7
無回答	0	0

⑥ウェブアンケート

	回答者	
	実数 (人)	構成比 (%)
全体	400	100.0
浦安市	100	25.0
市川市	100	25.0
船橋市	100	25.0
江戸川区	100	25.0



## 第 2 部 就学前児童保護者

---



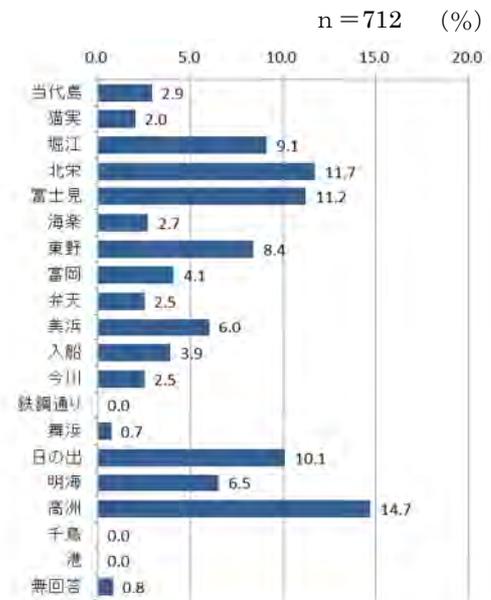
## 第2部 就学前児童保護者

※就学前児童調査の回答者数は712であり、集計の基本はこの数である。限定設問は少なくなる。

### 1. お住まいの地区について

問1 お住まいの地区はどちらですか。（あてはまる番号1つに○をつけ、カッコ内に丁目の数字を記入）

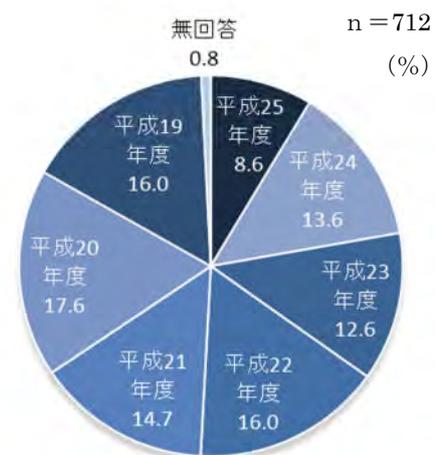
お住まいの地区は、「高洲」が14.7%、「北栄」が11.7%、「富士見」が11.2%、「日の出」が10.1%、「堀江」が9.1%などとなっている。



### 2. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

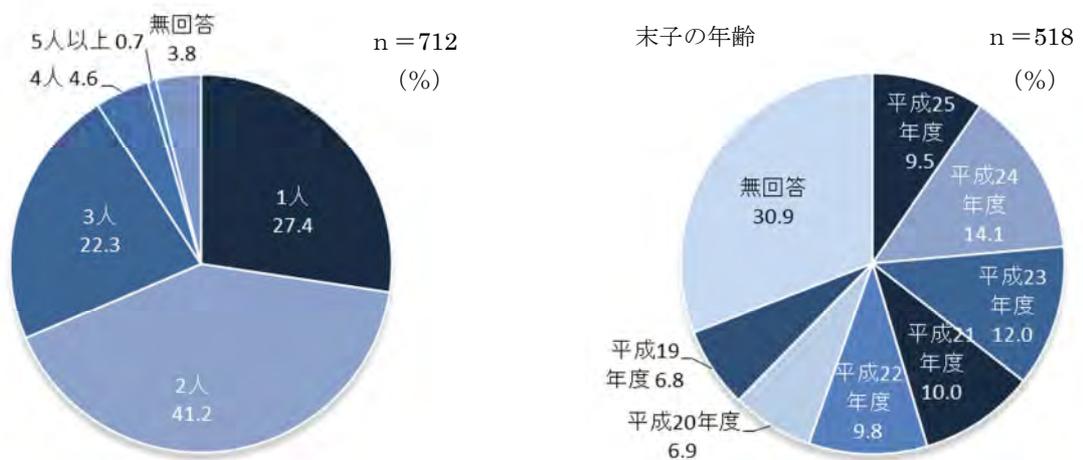
問2 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

生年月を年度別にみると、平成20年度が17.6%、平成22年度と19年度がともに16.0%、平成21年度が14.7%となっている。平成25年度は9月生まれまでを調査対象としているため、割合が少なくなっている。



問3 あて名のお子さんのご兄弟姉妹は何人いらっしゃいますか。また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

兄弟姉妹は、「1人」が27.4%、「2人」が41.2%、「3人」が22.3%となっている。末子の生年は、「平成24年度」が14.1%、「平成23年度」が12.0%である。



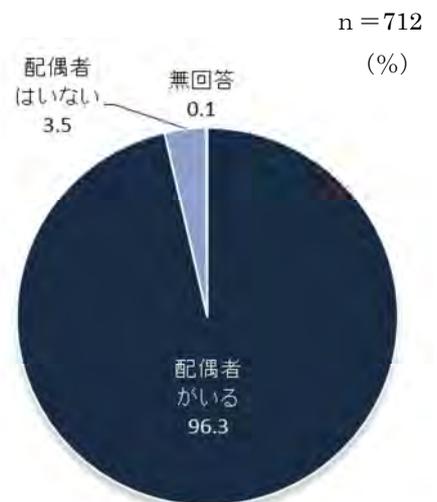
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんから見た関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

回答者は、「母親」が92.3%、「父親」が7.6%である。



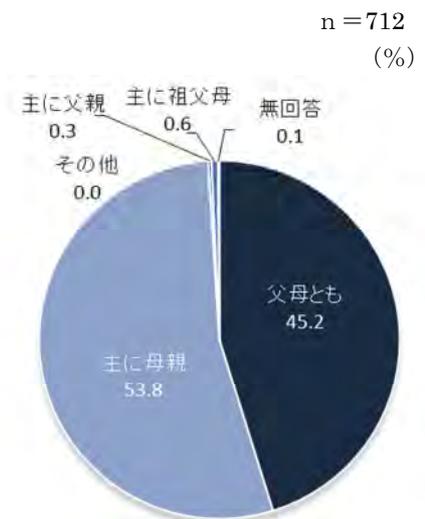
問5 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が96.3%、「配偶者がいない」が3.5%である。



問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方に○をつけてください。あて名のお子さんから見た続柄でお答えください。（あてはまる番号1つに○）

主に子育てをしている方は、「父母とも」が45.2%、「主に母親」が53.8%、「主に父親」が0.3%、「主に祖父母」が0.6%となっている。



### 3. 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的にかかわっている方（施設）についてお伺いします。あて名のお子さんから見た続柄でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

日常的に子育てに関わっている方（施設）は、「父母ともに」が61.1%、「母親」が31.3%、「保育園」が29.1%、「幼稚園」が26.1%、「祖父母」が21.3%となっている。



問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境についてお伺いします。（あてはまる番号すべてに○）

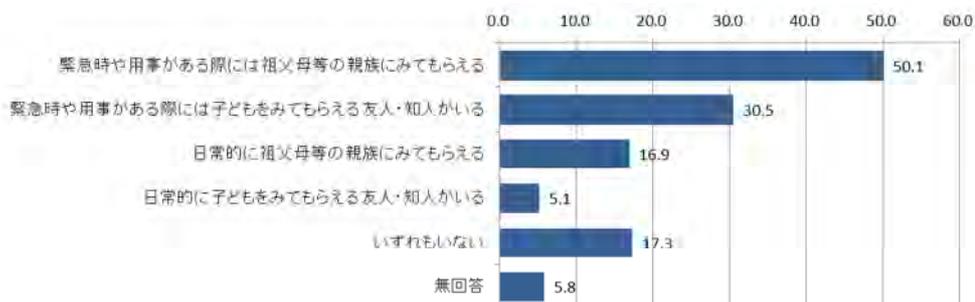
子育てに影響すると思われる環境は、「家庭」が95.4%、「地域」が46.6%、「幼稚園」が43.3%、「保育園」が37.6%などとなっている。



**問9 日頃、お子さんを見てもらえる親族、友人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)**

日頃、お子さんを見てもらえる親族、友人は、「緊急時の用事がある際には祖父母等の親族にみてもらえる」が50.1%、「緊急時や用事がある際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が30.5%であり、“緊急時”はみてもらえる割合が多い。

n = 712 (%)

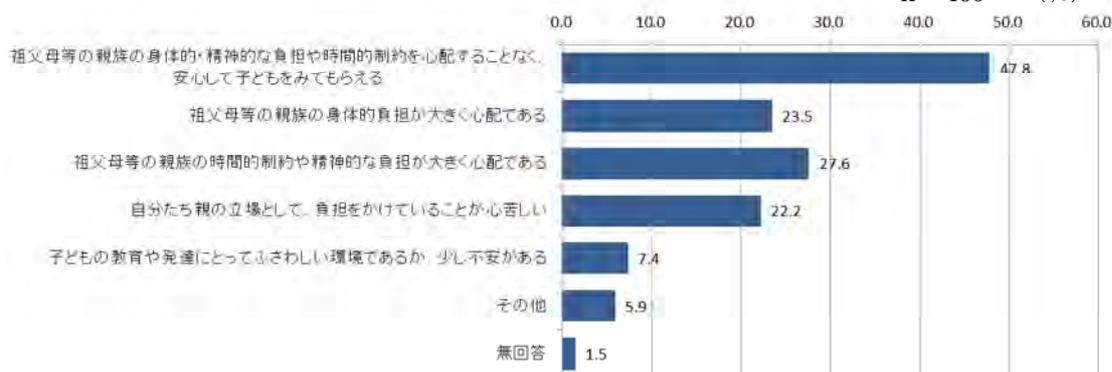


**問9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時や用事がある際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選ばれた方にお伺いします。**

**問9-1 祖父母等の親族にみてもらっている状況について、お伺いします。(あてはまる番号すべてに○)**

祖父母等の親族にみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」が47.8%と、祖父母の負担などを心配せず預けられるとする割合が半数を下回っている。

n = 460 (%)

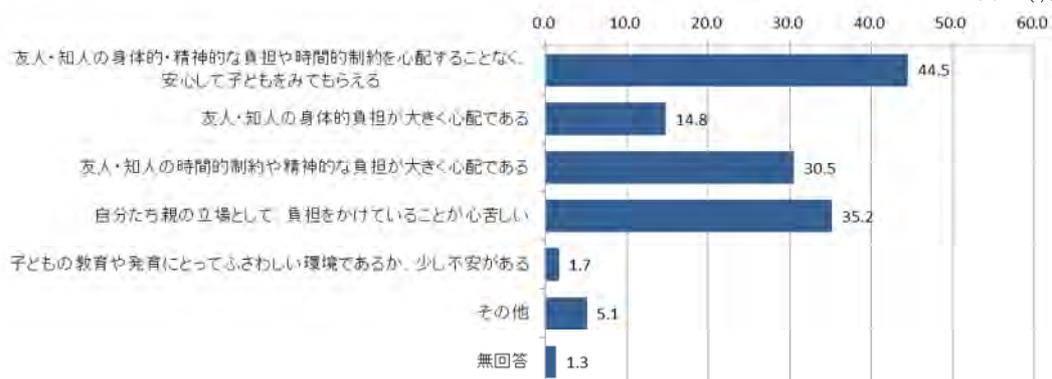


**問9で「3. 日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時や用事がある際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」を選ばれた方にお伺いします。**

**問9-2 友人や知人にみてもらっている状況について、お伺いします。(あてはまる番号すべてに○)**

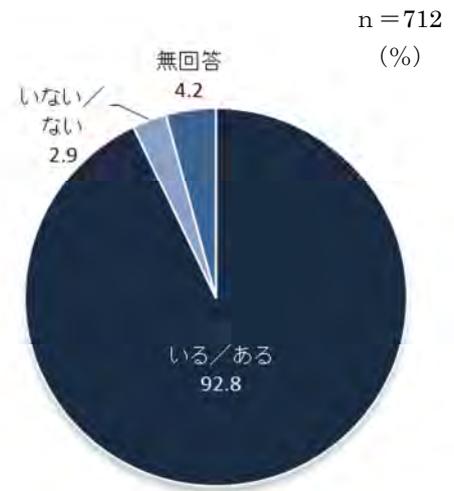
友人や知人にみてもらっている状況は、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」が44.5%となっている。

n = 236 (%)



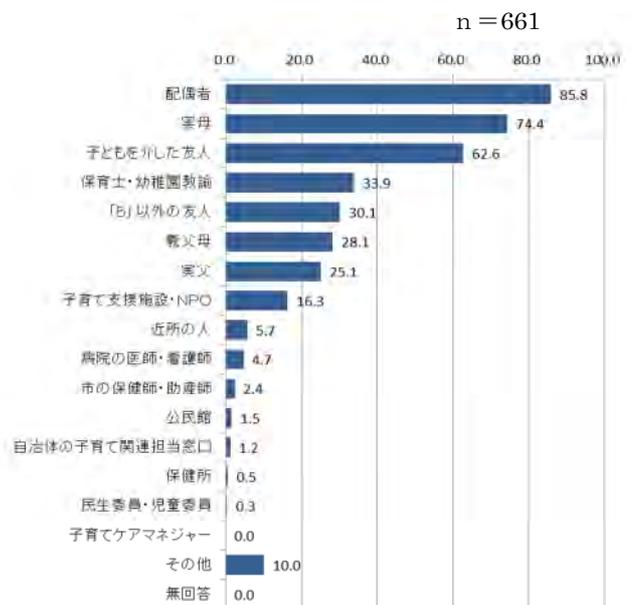
**問10 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)**

気軽に相談できる人がいる、場所があるとする割合は、「いる／ある」が 92.8%、「いない／ない」が 2.9%となっている。



**問10で「1. いる／ある」を選ばれた方にお伺いします。**  
**問10-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)**

気軽に相談できる先は、「配偶者」が 85.8%、「実母」が 74.4%、「子どもを介した友人」が 62.6%などとなっている。



## 4. 保護者の就労状況について

両親の就労状況についてお伺いします。

(ひとり親家庭の方は、父親または母親の該当する欄についてご記入ください。)

問12 現在の就労状況を(自営業、家族従事者含む)お伺いします。(それぞれあてはまる番号1つに○)

※ フルタイムとは、1週5日程度・1日8時間程度の就労を指します。

両親の就労状況をみると、父親では、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が94.5%である。母親では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が51.0%であり、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が22.3%となっている。

### 【父親】



### 【母親】



問12で「1.」～「4.」で「就労している」を選ばれた方にお伺いします。

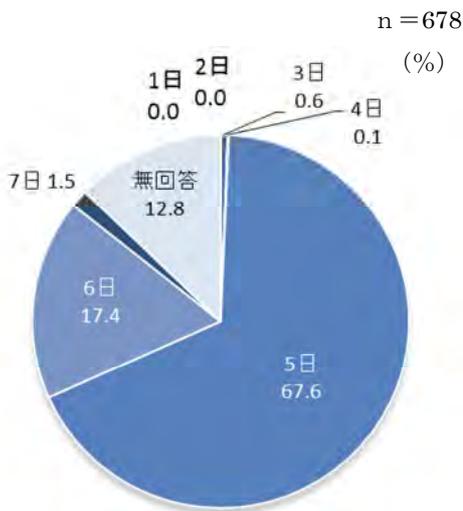
問12-1 週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、通常、仕事のために家を出る時間と帰宅する時間をご記入ください。定まっていない場合は、比較的多い時間を、自宅勤務の場合は、仕事開始時間と仕事終了時間をご記入ください。（時間は「18時30分ころ」（例）のように24時間制でお答えください。）

また、残業・休日出勤の状況についてお答えください。（それぞれあてはまる番号1つに○）

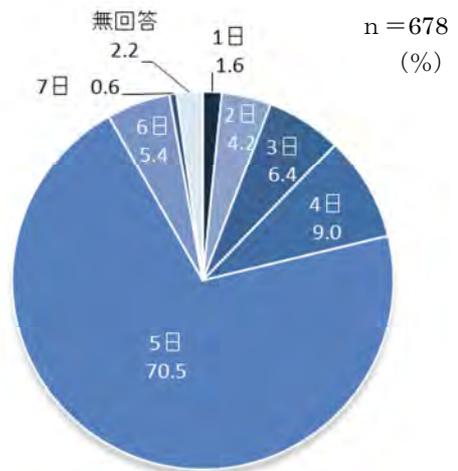
■週に何日仕事をしていますか

週の就労日数は、父親は「5日」が67.6%、「6日」が17.4%であり、母親は「5日」が70.5%、「4日」が9.0%である。

【父親】



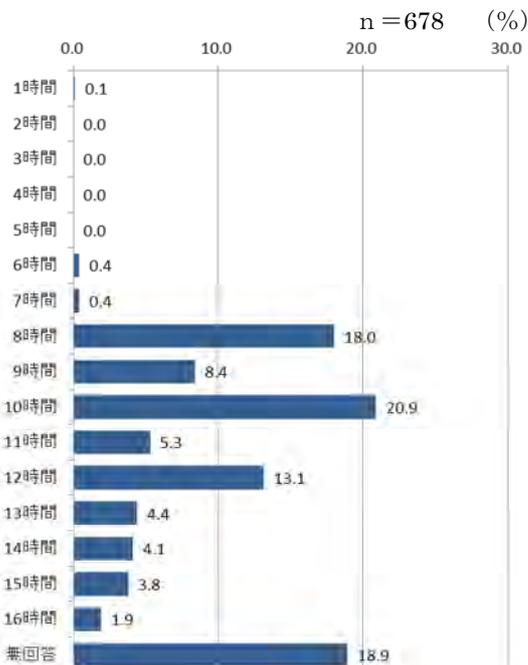
【母親】



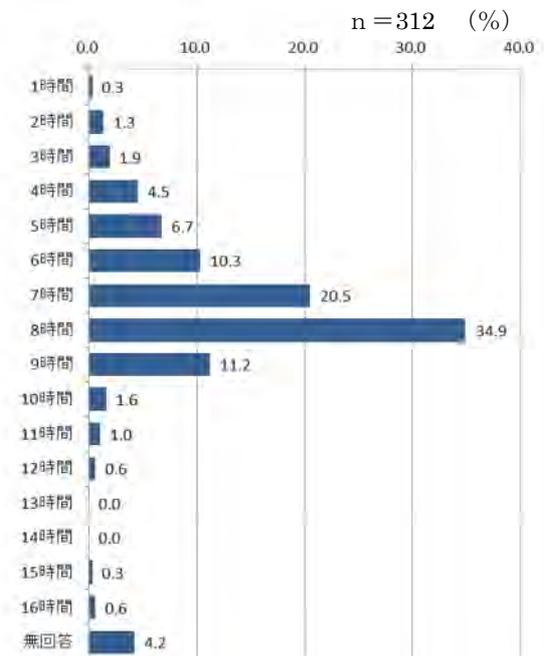
■1日あたりの就労時間

1日あたりの就労時間は、父親では「10時間」が最も多く、「8時間以上」が大半を占めており、母親は「8時間」が多く、「9時間以下」が大半を占めている。

【父親】



【母親】



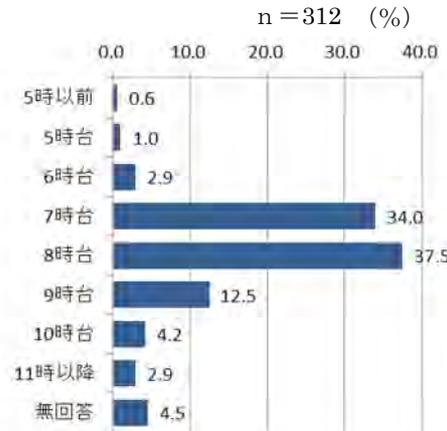
■家を出る時間

家を出る時間は、父親では「7時台」が最も多く、母親では「8時台」と「7時台」が多い。

【父親】



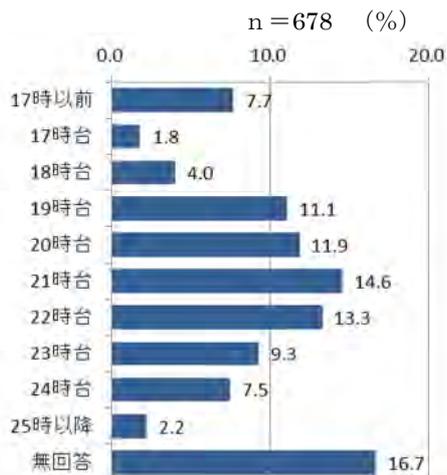
【母親】



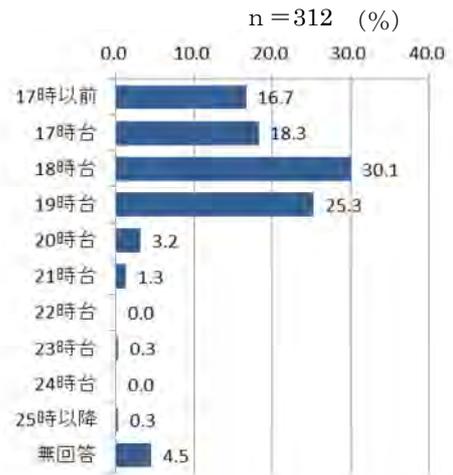
■家に着く時間

家に着く時間は、父親では「21時台」が最も多く、大半が“19時以降”である。母親では「18時台」が最も多く、大半が“19時以前”となっている。

【父親】



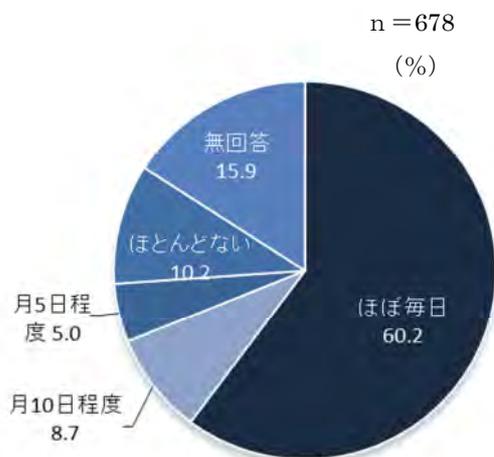
【母親】



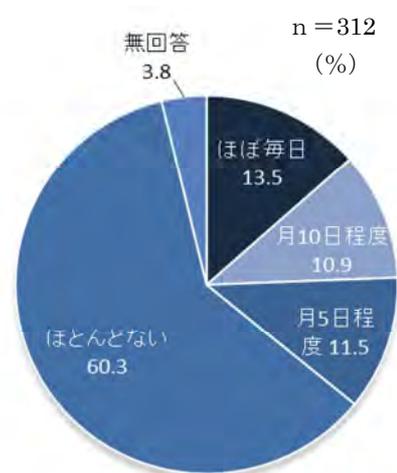
■残業の状況

残業の状況は、父親では「ほぼ毎日」が60.2%、母親では「ほとんどない」が60.3%である。

【父親】



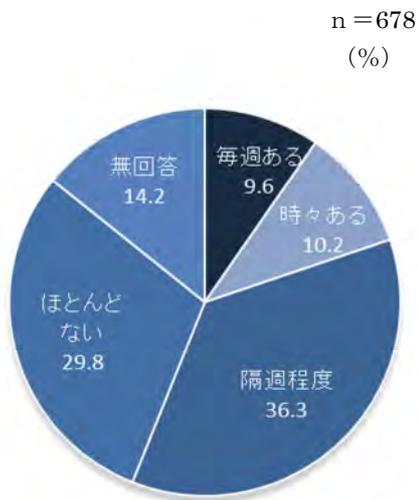
【母親】



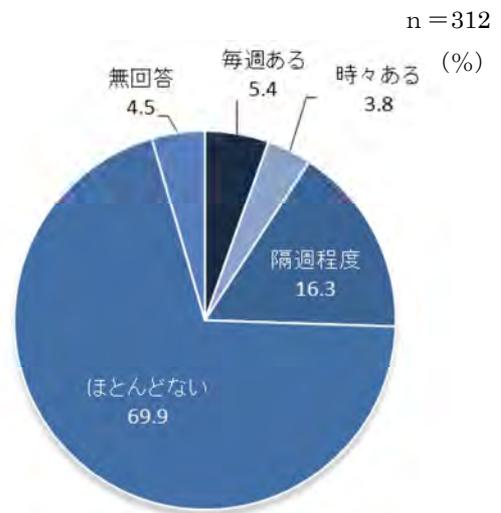
■休日出勤の状況

休日出勤の状況は、父親では「隔週程度」が36.3%、「時々ある」が10.2%、「毎週ある」が9.6%である。母親では「ほとんどない」が69.9%となっている。

【父親】



【母親】

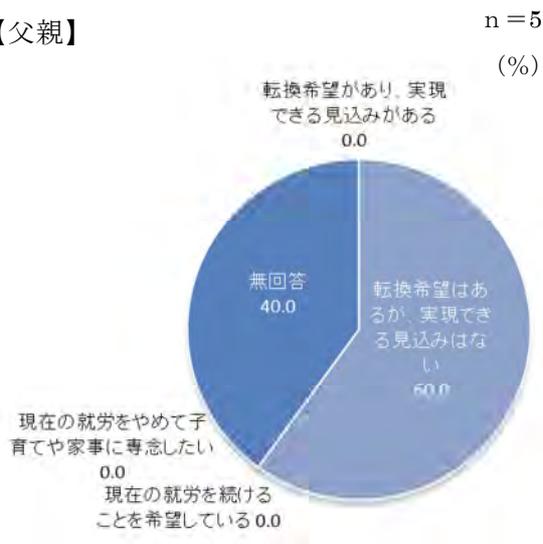


問12で「3.」または「4.」の「パートタイム、アルバイト等で就労している」を選ばれた方にお伺いします。

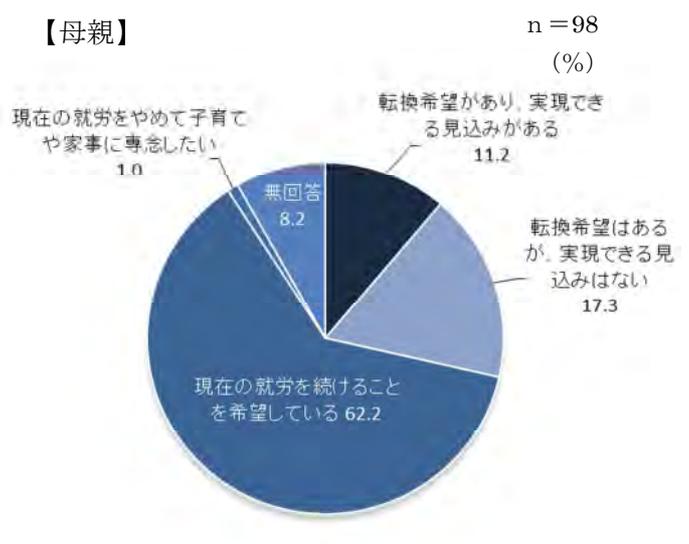
問 12-2 フルタイムへの転換希望等についてお伺いします。(あてはまる番号1つに○)

パートタイム・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望は、母親では「現在の就労を続けることを希望している」が62.2%、「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が17.3%、「転換希望があり、実現できる見込みがある」が11.2%である。また、父親の回答数は少ないものの「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が60.0%である。

【父親】



【母親】



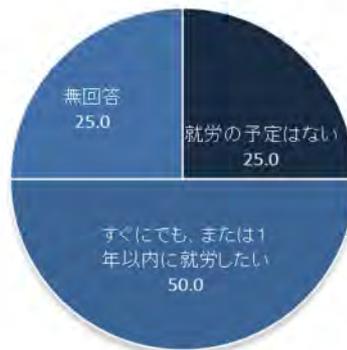
問12で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまでに就労したことがない」を選ばれた方にお伺いします。該当しない方は、問13へお進みください。

問12-3 就労希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、該当する枠内には数字をご記入ください。(数字は一枠に一字)

現在就労していない方の就労希望は、母親では「1年より先に就労したい」が50.8%、「すぐにも、または1年以内に就労したい」が15.9%、合わせて66.7%、3分の2に就労希望がある。また、就労を希望するときの子どもの年齢は、「7歳」が20.7%、「6歳」が19.2%で多くなっている。

【父親】

n = 4  
(%)

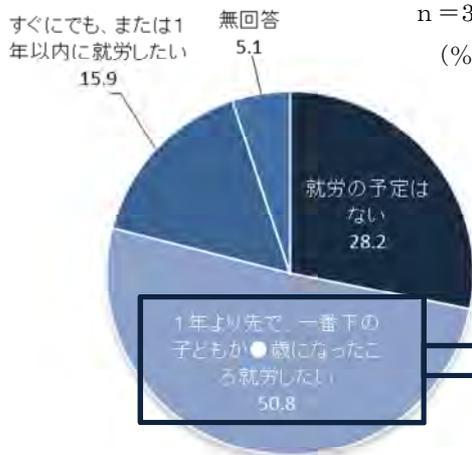


1年より先で、一番下の子どもが●歳になったころ就労したい  
0.0

※「1年より先で、一番下の子どもが●歳になったころに就労したい」の回答なし。

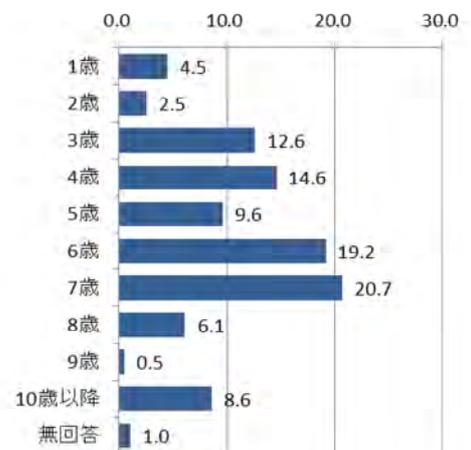
【母親】

n = 390  
(%)



末子が何歳になった頃に就労を希望するか

n = 198 (%)



問12-3で「2. 1年より先で、一番下の子どもが●歳になったころに就労したい」または「3. すぐにでも、または1年以内に就労したい」を選ばれた方にお伺いします。

問12-3-1 就労希望の形態はどのようなものですか。(あてはまる番号1つに○)

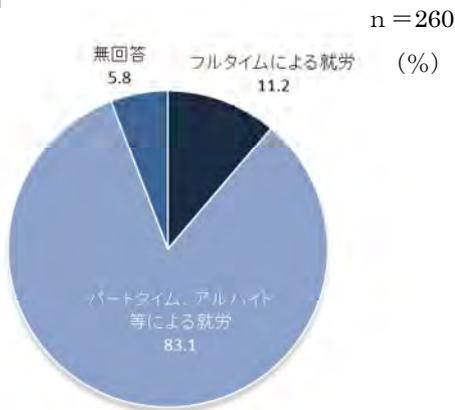
(パート、アルバイトを希望の方は1週あたり日数と1日あたり時間もご記入ください。)

希望する就労形態は、母親では「フルタイムによる就労」が11.2%、「パートタイム、アルバイト等による就労」が83.1%となっている。週の就労希望日数は「3日」が58.8%、「4日」が25.5%、また1日の就労時間は「5時間」が44.9%、「4時間」が27.8%、「6時間」が15.3%である。

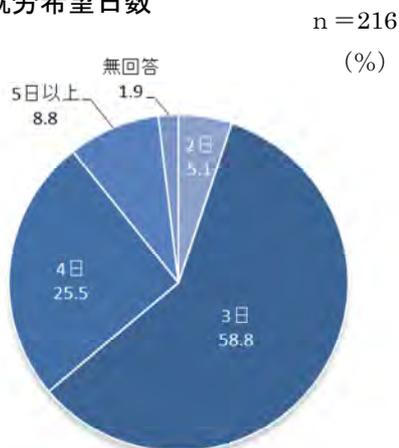
【父親】



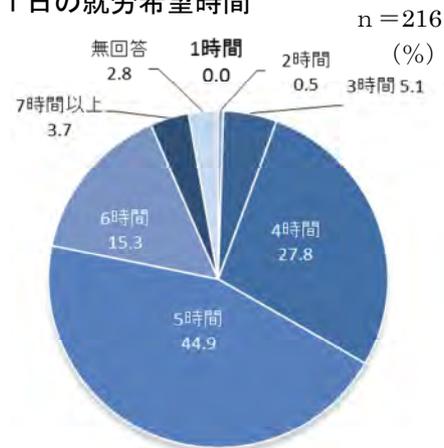
【母親】



週の就労希望日数



1日の就労希望時間

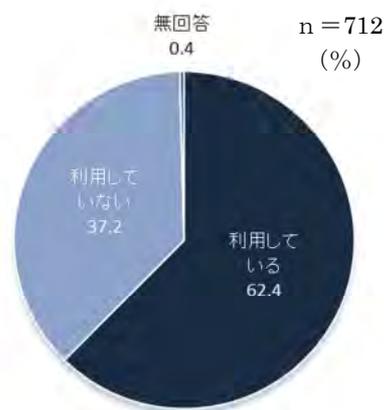


## 5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用について

問13はすべての方にお伺いします。

問13 あて名のお子さんの現在の「定期的な教育・保育事業」の利用の有無についてお伺いします。日頃、「定期的な教育・保育事業」を利用していらっしゃいますか。(あてはまる番号1つに○)

定期的な教育・保育事業の利用は、「利用している」が62.4%、「利用していない」が37.2%である。



※定期的な教育・保育事業とは以下のものを指す。

「定期的な教育・保育事業」の種類		
<b>1. 幼稚園</b> 通常的就園時間の利用	<b>5. 保育ママ(家庭的保育)</b> 保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業	<b>10. 小規模な保育施設</b> 国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの
<b>2. 幼稚園預かり保育</b> 通常的就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ	<b>6. 事業所内保育施設</b> 企業が主に従業員用に運営する施設	<b>11. ファミリー・サポート・センター</b> 地域住民が子どもを預かる事業
<b>3. 認可保育園</b> 国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの	<b>7. 認証保育所</b> 認可保育園ではないが、自治体が認証した施設	<b>12. その他</b> 定期的な一時保育などを含む、1～11以外の教育・保育事業 (※サークル活動や習い事は含まれません。)
<b>4. 認定こども園</b> 保育施設と幼稚園の機能を併せ持つ施設 (※現在のところ、浦安市内にはありません。)	<b>8. 簡易保育所</b> 認証保育所以外の認可外保育施設	
	<b>9. 居宅訪問型保育</b> ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業	

問13で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。

問13-1 封筒のあて名のお子さんは、平日、どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じ「定期的」に利用している事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

利用している教育・保育事業は、「幼稚園」が46.4%、「認可保育園」が39.9%、「幼稚園の預かり保育」が10.1%などとなっている。



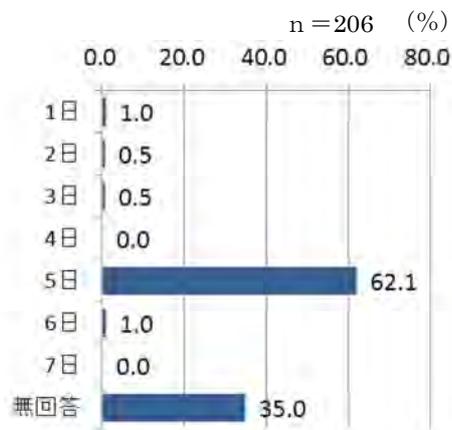
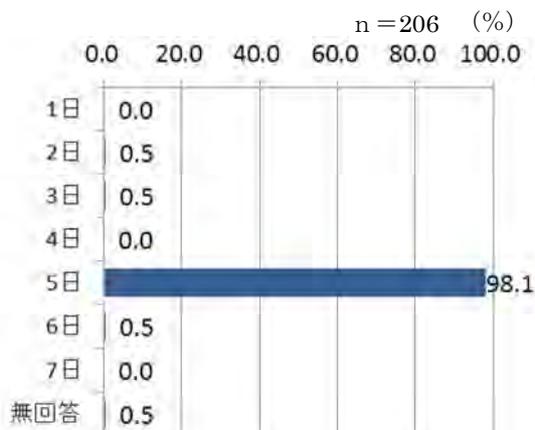
問13-1-1 ○をつけた教育・保育の事業は、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）と具体的な数字をご記入ください。時間は、必ず9時30分～18時00分（例）のように24時間制で30分単位にてお答えください。

問13で利用の多い「幼稚園」と「認可保育園」について、利用状況、利用意向を整理する。

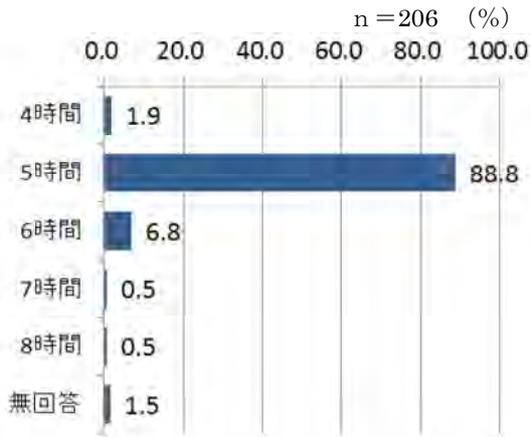
### 幼稚園

現状の利用日数は「5日」が98.1%

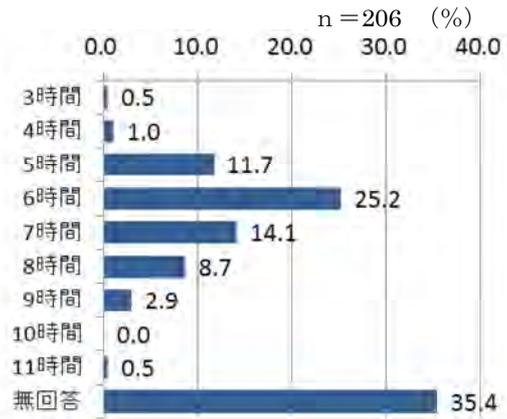
利用希望日数は「5日」が62.1%



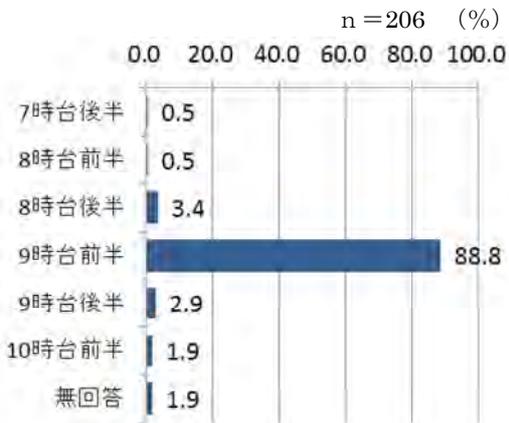
現状の利用時間は「5時間」が88.8%



利用希望時間は「6時間」が25.2%



現状の開始時間は「9時台前半」が88.8%



開始希望時間は「9時台前半」が53.9%



現状の終了時間は「13時台後半」が86.4%

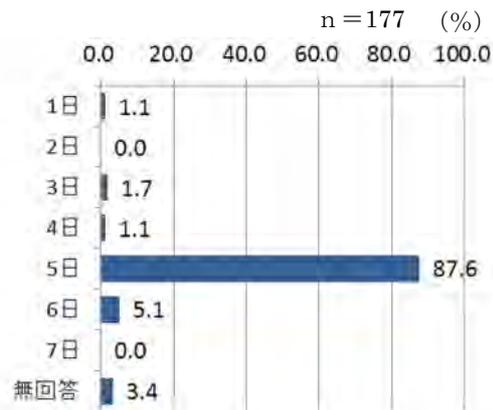


終了希望時間は「14時台後半」が24.3%

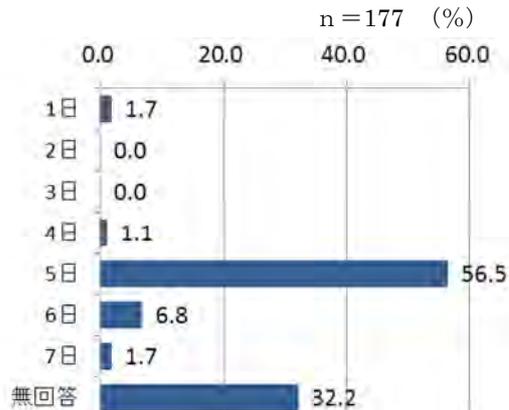


## 認可保育園

現状の利用日数は「5日」が87.6%



利用希望日数は「5日」が56.5%



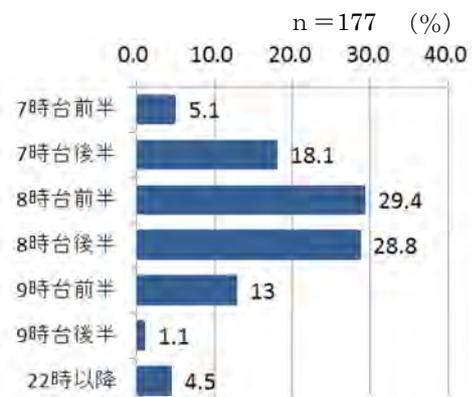
現状の利用時間は「10時間」が32.8%



利用希望時間は「10時間」が20.3%



現状の開始時間は「8時台前半」が29.4%



開始希望時間は「8時台前半」が20.9%



現状の終了時間は「18 時台後半」が 23.2%



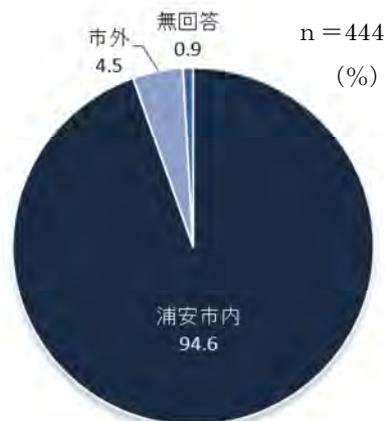
終了希望時間は「18 時台前半」が 12.4%



問 13-2 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてお伺いします。

(あてはまる番号1つに○)

利用している教育・保育事業の実施場所は、「浦安市内」が94.6%、「市外」が4.5%となっている。



問13-3 定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてお伺いします。

(あてはまる番号1つに○)

定期的に教育・保育事業を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」が48.2%、「子育てをしている方が現在就労している」が47.5%である。

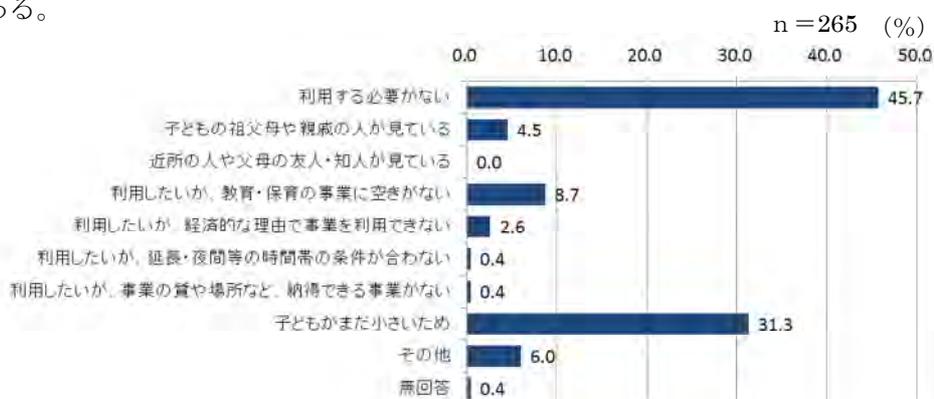


問13で「2. 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。

問13-4 定期的に教育・保育の事業を利用されていない理由についてお伺いします。

(あてはまる番号1つに○)

定期的に教育・保育事業を利用していない理由は、「利用する必要がない」が45.7%、「子どもがまだ小さいため」が31.3%である。



平日の教育・保育の利用希望について、すべての方にお伺いします。

問 14 現在の利用状況にかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

また、○をつけた教育・保育の事業は、1週あたり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)利用したいか、具体的な数字でお答えください。時間は、必ず9時30分～18時00分(例)のように24時間制で30分単位にてお答えください。

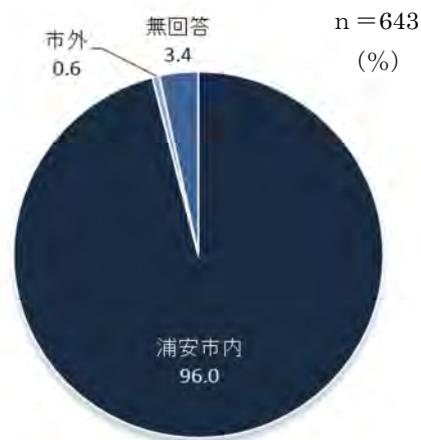
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。幼稚園・幼稚園の預かり保育・認可保育園・保育ママ・ファミリー・サポート・センターの浦安市の利用料は、資料を同封いたしますので、参考にしてお答えください。

平日の教育・保育事業として定期的に利用したいのは、「幼稚園」が49.4%、「認可保育園」が40.4%、「幼稚園の預かり保育」が34.0%となっている。



問 14-1 教育・保育事業を利用したい場所についてお伺いします。(あてはまる番号1つに○)

教育・保育事業を利用した居場所は、「浦安市内」が96.0%、「市外」が0.6%である。



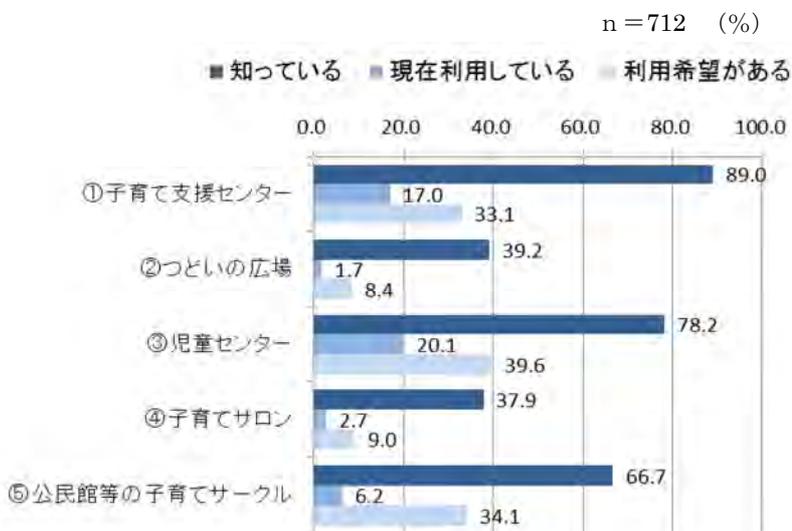
## 6. 地域の子育て支援事業の利用状況等について

問 15 あて名のお子さんは、現在、「子育て支援センター」や「つどいの広場」、「子育てサロン」など（親子が集まって過ごしたり、相談したり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。現在、市内で実施している、次の①～⑤の場所等の A) 認知状況、 B) 利用状況、 C) 今後の利用希望についてお答えください。（①～⑤で知っている場所が1つでもあれば番号に○）  
また、現在利用している場合、利用希望がある場合は、（ ）内に数字をご記入ください。

地域の子育て支援事業について、知っているのは「子育て支援センター」が 89.0%、「児童センター」が 78.2%、「公民館等の子育てサークル」が 66.7%などとなっている。

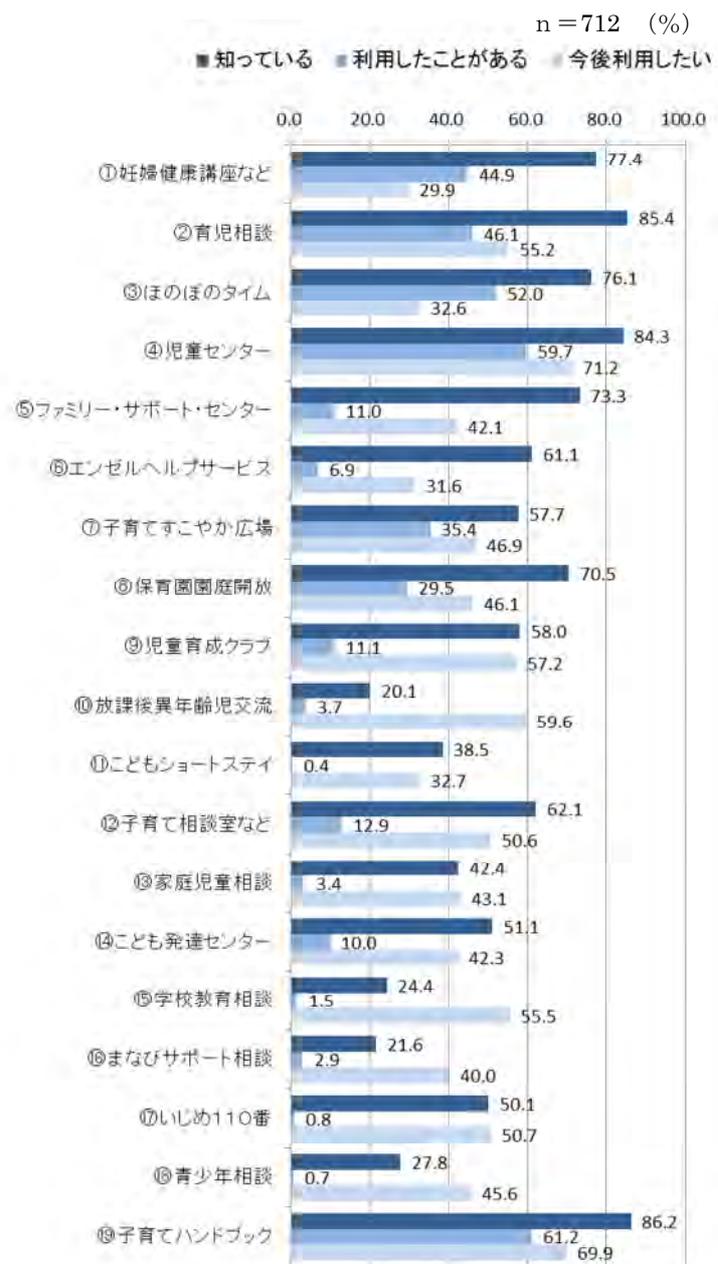
現在利用しているのは、「児童センター」が 20.1%、「子育て支援センター」が 17.0%などとなっている。

利用希望があるのは、「児童センター」が 39.6%、「公民館等の子育てサークル」が 34.1%、「子育て支援センター」が 33.1%である。



問 16 下記の事業等について知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いませんか。事業の分野ごとに、A～Cについてお答えください。  
(それぞれあてはまる番号1つに○)

地域子育て支援事業等について「知っている」と回答した割合が高いものは、「子育てハンドブック」(86.2%)や「育児相談」(85.4%)、「児童センター」(84.3%)などである。また、「利用したことがある」のは、「子育てハンドブック」(61.2%)や「児童センター」(59.7%)、「ほのぼのタイム」(52.0%)などである。一方、「今後利用したい」のは、「児童センター」(71.2%)や「子育てハンドブック」(69.9%)などとなっている。



## 7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 17 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。（それぞれあてはまる番号1つに○）

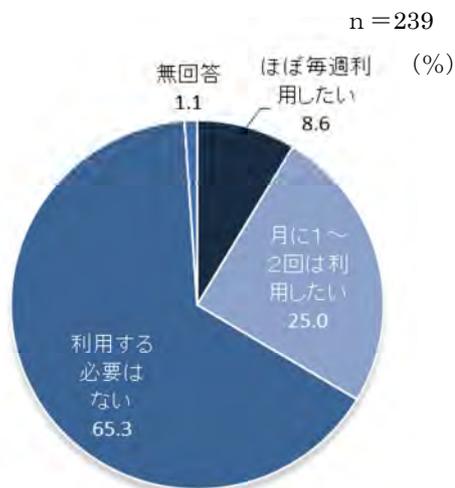
また、利用希望がある方は利用したい時間帯を9時30分～18時00分（例）のように24時間制で30分単位にてお答えください。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

※ 定期的な教育・保育事業とは、保育園、幼稚園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

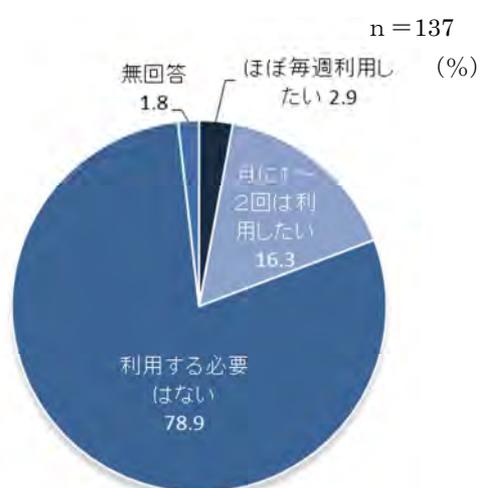
定期的な教育・保育事業の利用希望について、土曜日は、「利用する必要はない」が65.3%、「月に1～2回は利用したい」が25.0%である。

日曜日・祝日は、「利用する必要はない」が78.9%、「月に1～2回は利用したい」が16.3%である。

土曜日



日曜日・祝日



問 17 の「2. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にお伺いします。

問 17-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

月に1～2回利用したい理由は、「月に数回は仕事が入るため」が46.6%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が42.2%、「息抜きのため」が41.2%である。

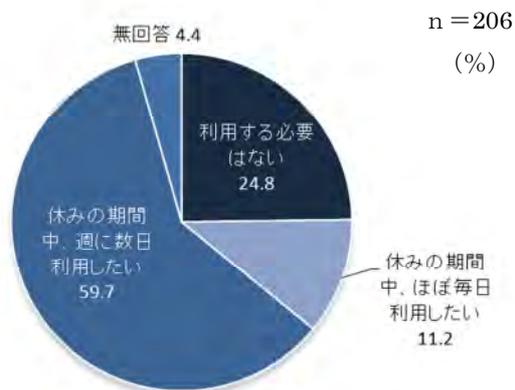


「幼稚園」を利用されている方にお伺いします。

問 18 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(あてはまる番号1つに○)

利用希望がある場合は、利用したい時間帯を、9時30分～18時00分(例)のように24時間制で30分単位にてご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

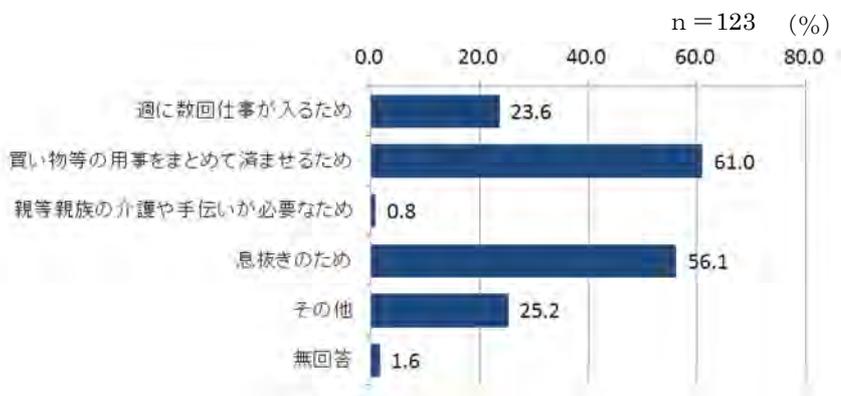
幼稚園利用者のうち、長期休暇中の教育・保育事業の利用希望は、「休みの期間中、週に数日利用したい」が59.7%、「利用する必要はない」が24.8%となっている。



問 18 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にお伺いします。

問 18-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○)

週に数日利用したい理由は、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が61.0%、「息抜きのため」が56.1%などとなっている。

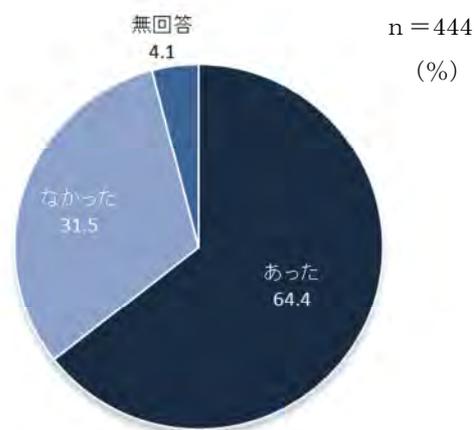


## 8. 病気の際の保育について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 13 で、定期的な教育・保育事業を「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。

問 19 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで定期的な教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。（あてはまる番号1つに○）

病気やケガで定期的な教育・保育事業が利用できなかったことは、「あった」が64.4%、「なかった」が31.5%である。

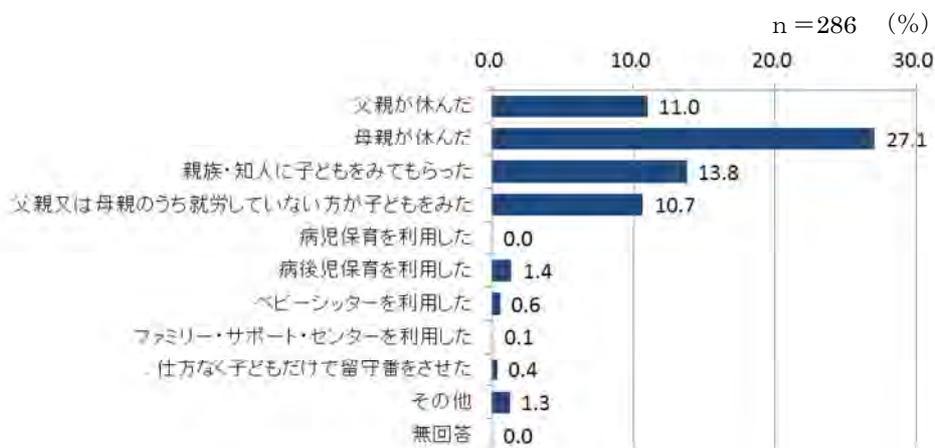


問 19 で「1. あった」を選ばれた方にお伺いします。

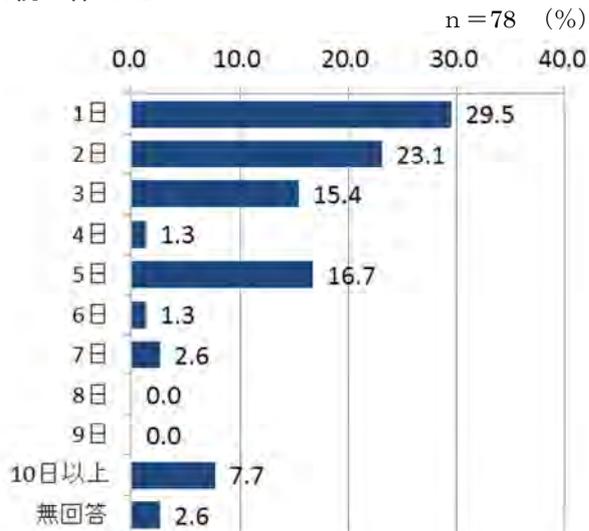
問 19-1 この1年間の、お子さんが病気やケガで定期的な教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を枠内にご記入ください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

病気やケガで定期的な教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法は、「母親が休んだ」が27.1%、「親族・知人に子どもをみてもらった」が13.8%、「父親が休んだ」が11.0%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が10.7%である。

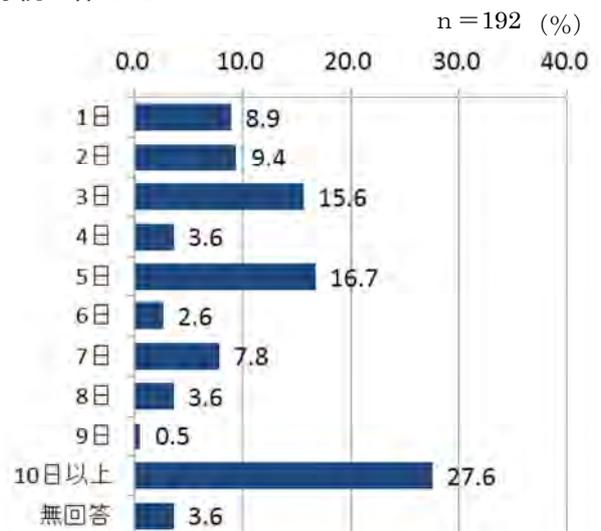
対処方法としては、母親が休んだ割合が多く、その日数をみると「10日以上」が27.6%となっている。



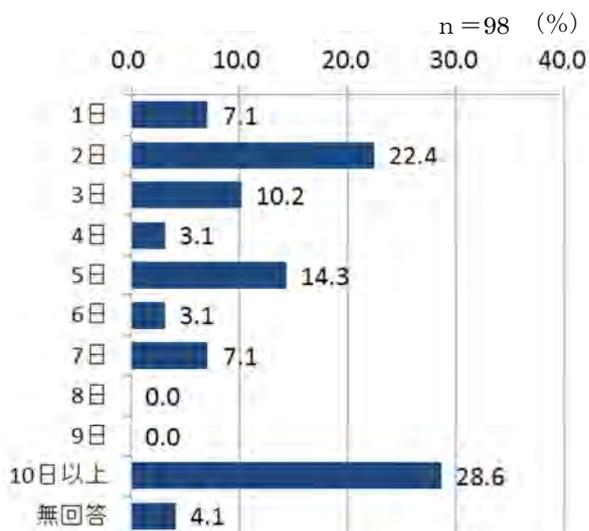
父親が休んだ



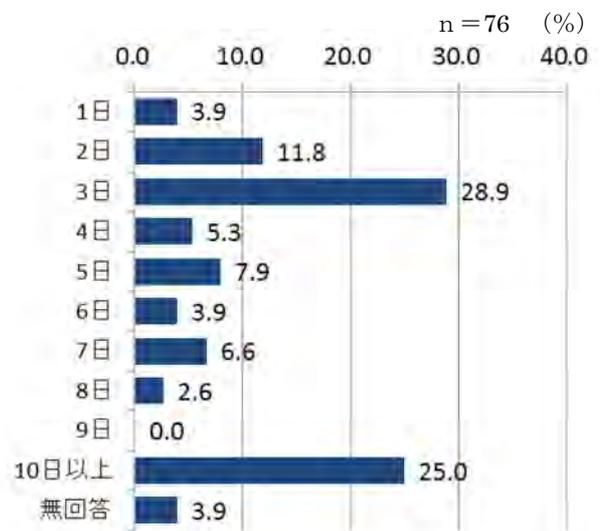
母親が休んだ



親族・知人にみてもらった



父母のうち就労していないほうがみた



問 19-1 で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」を選ばれた方にお伺いします。

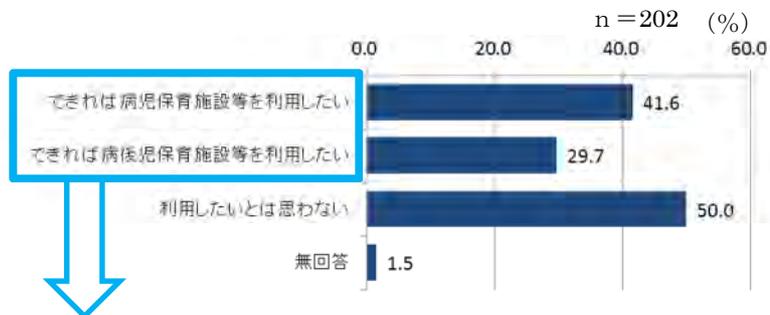
問 19-1-1 その際、病児・病後児のための事業等を利用したいと思われましたか。

(あてはまる番号すべてに○)

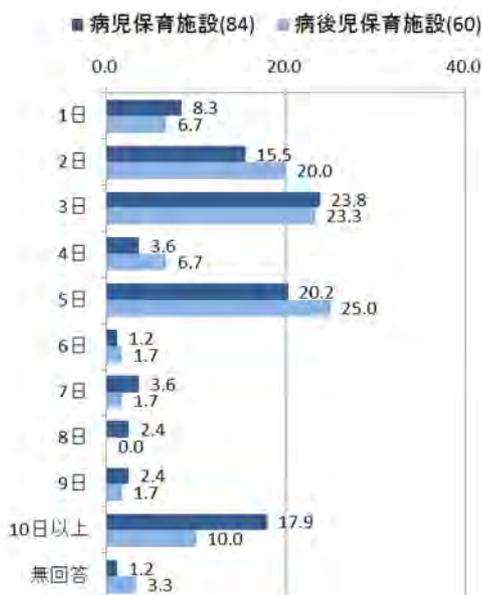
また、その日数はどれくらいありましたか。枠内に日数をご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の料金がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

父親または母親が休んだ方の病児・病後児保育の利用希望は、「利用したいとは思わない」が 50.0%、「病児保育等を利用したい」が 41.6%、「病後児保育等を利用したい」が 29.7%となっている。

病児保育施設を利用したい人 (n=84) では、「3日」が 23.8%、「5日」が 20.2%、「10日以上」が 17.9%であり、病後児保育を利用したい人 (n=60) では、「5日」が 25.0%、「3日」が 23.3%となっている。



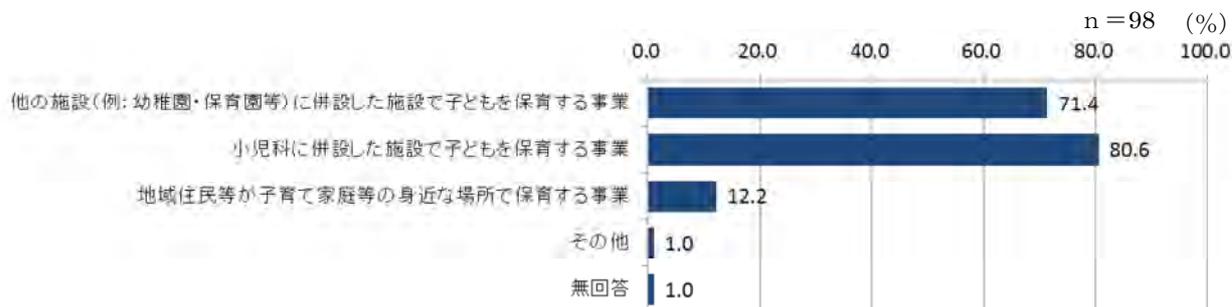
利用希望日数



問19-1-1で「1. できれば病児保育施設等を利用したい」「2. できれば病後児保育施設等を利用したい」を選ばれた方にお伺いします。

問 19-1-2 上記の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。(あてはまる番号すべてに○)

病児保育や病後児保育等を利用希望する施設の事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 80.6%、「他の施設に併設した施設で保育する事業」が 71.4%などとなっている。



問 19-1-1 で「3. 利用したいとは思わない」を選ばれた方にお伺いします。

問 19-2 そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

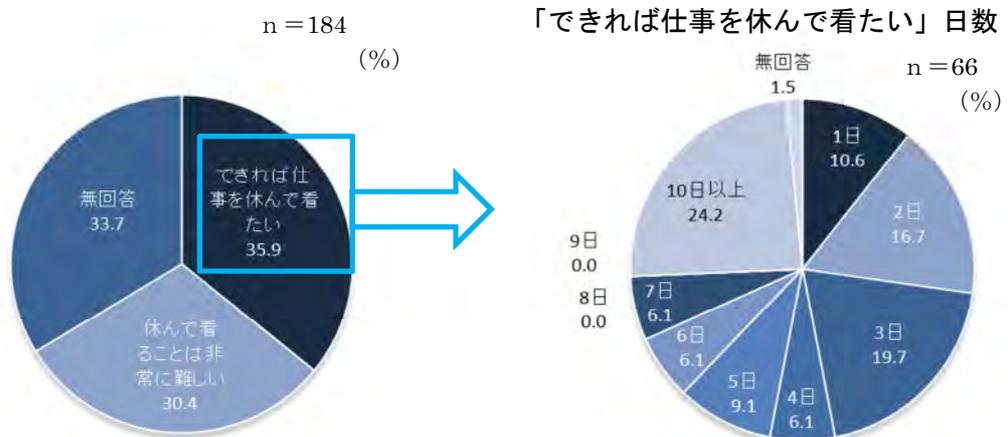
利用したいと思わない理由は、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 58.4%、「親が休んで対応する」が 49.5%などとなっている。



問19-1で「3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」～「10. その他」を選ばれた方にお伺いします。

問 19-3 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。（あてはまる番号1つに○） また、その日数はどれくらいありましたか。枠内に日数をご記入ください。

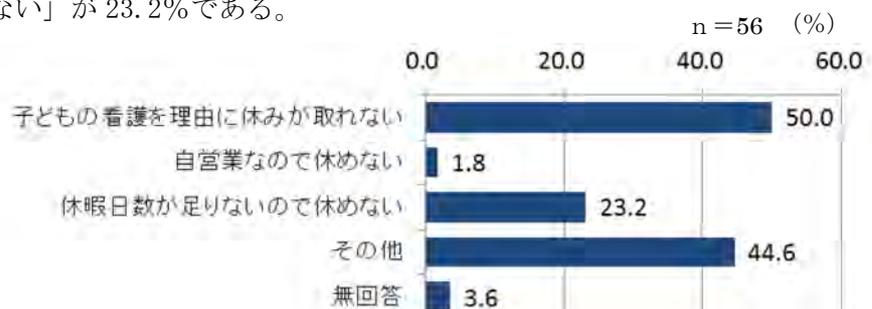
両親が休む以外の対応をした方で、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかをきいたところ、「できれば仕事を休んで看たい」が 35.9%、「休んで看ることは非常に難しい」が 30.4%である。また、その日数は、「10日以上」が 24.2%、「3日」が 19.7%、「2日」が 16.7%となっている。



問 19-3で「2. 休んで看ることは非常に難しい」を選ばれた方にお伺いします。

問 19-4 そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

仕事を休んで看ることが非常に難しい理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 50.0%、「休暇日数が足りないので休めない」が 23.2%である。

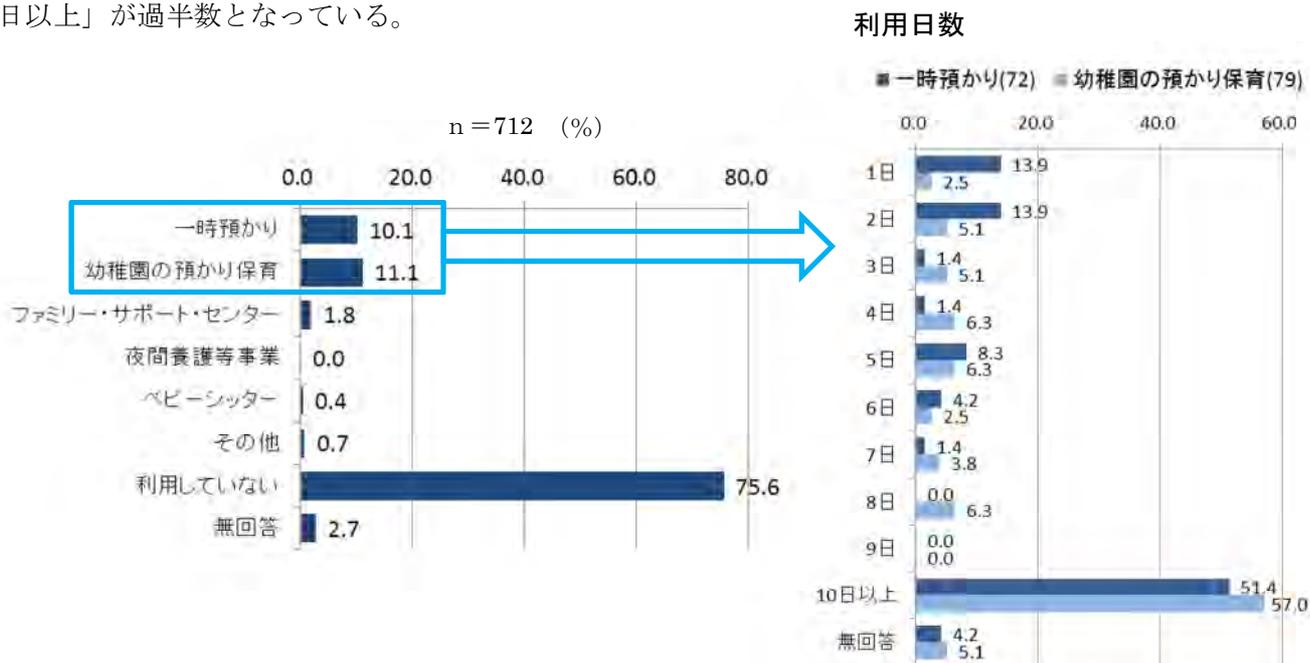


## 9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用について

問 20 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか(あてはまる番号すべてに○)。また、1年間の利用日数(おおよそ)も枠内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業は、「利用していない」が75.6%となっている。利用している事業では、「幼稚園の預かり保育」が11.1%、「一時預かり」が10.1%である。

日数をみると、一時預かり、幼稚園の預かり保育とも、「10日以上」が過半数となっている。



問 20で「7. 利用していない」と回答した方にお伺いします。  
 問 20-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が73.6%、「利用料がかかる・高い」が18.0%、「事業の利用方法がわからない」が12.8%となっている。



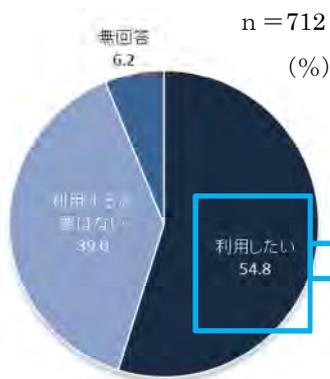
問 21 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を枠内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的での利用希望は、「利用したい」が 54.8%、「利用する必要はない」が 39.0%となっている。利用したい目的では、「私用、リフレッシュ目的」が 78.5%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が 61.8%となっている。

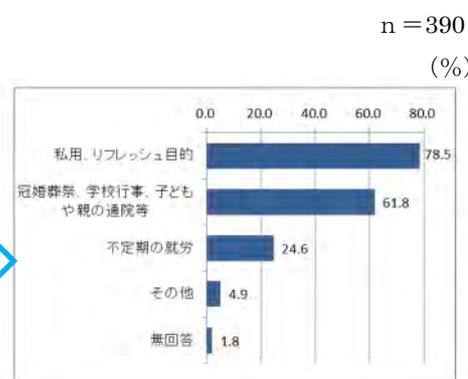
利用したい合計日数は、年間「10日以上」が 75.4%を占めている。

目的別では、最も多い「私用、リフレッシュ目的」では、「10日以上」が 67.6%と 3分の2 を占めており、他の目的でも「10日以上」が多くなっている。

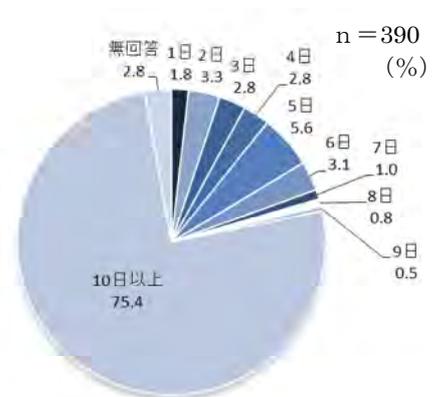
利用希望



目的

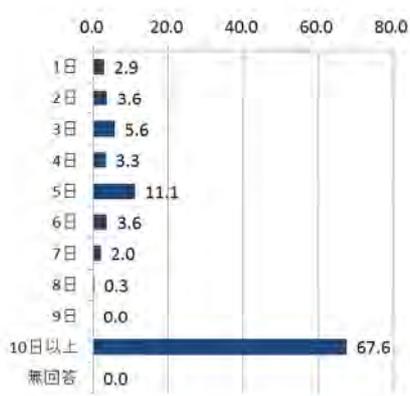


利用希望合計日数（年間）



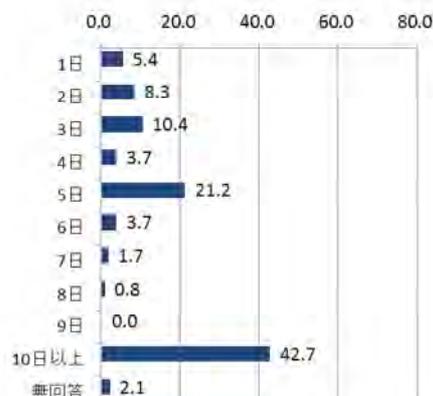
私用・リフレッシュ

n = 306  
(%)



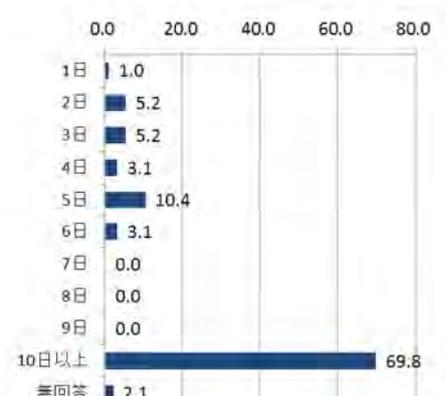
冠婚葬祭・学校行事など

n = 241  
(%)



不定期の就労

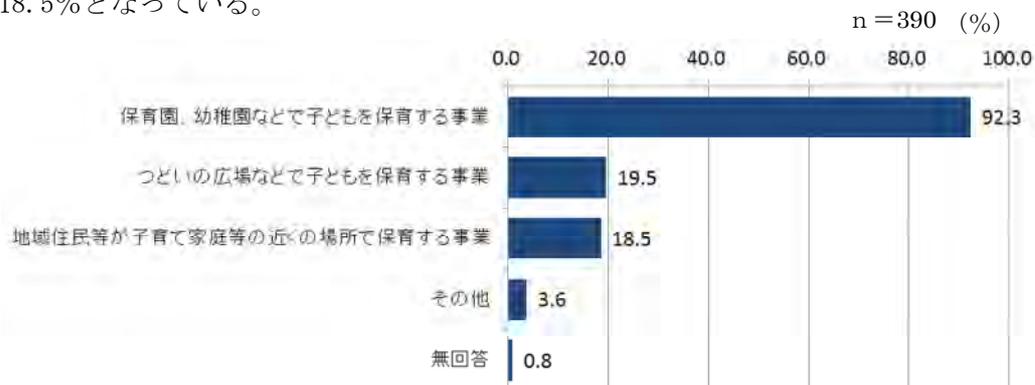
n = 96  
(%)



問 21 で「1. 利用したい」を選ばれた方にお伺いします。

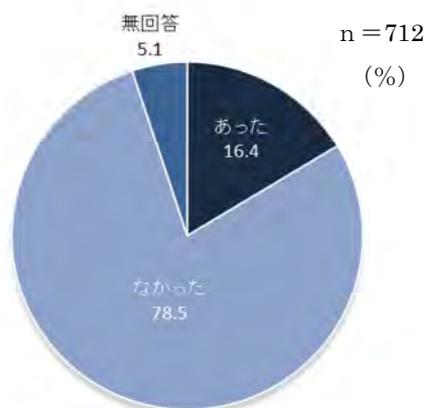
問 21-1 問 21 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

お子さんを預ける事業形態として望ましいのは、「保育園、幼稚園などで子どもを保育する事業」が 92.3%、「つどいの広場などで子どもを保育する事業」が 19.5%、「地域住民等が家庭等の近くで保育する事業」が 18.5%となっている。



問 22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（あてはまる番号1つに○）

泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことが、「なかった」が 78.5%、「あった」が 16.4%となっている。



問 22 で「1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」を選ばれた方にお伺いします。

問 22-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。（あてはまる番号すべてに○）ある場合は、それぞれの日数をご記入ください。

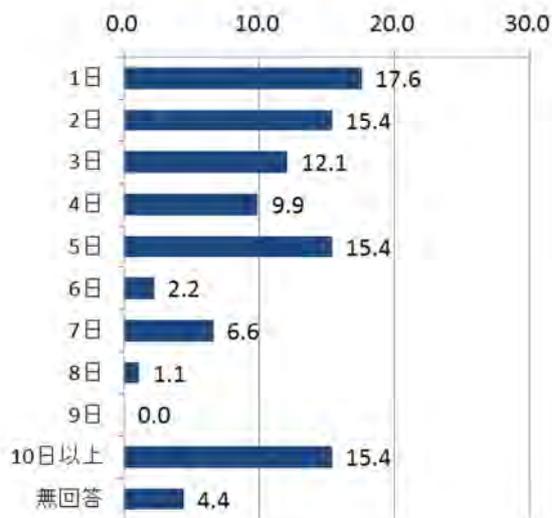
対処方法、「親族・知人にみてもらった」が 77.8%、「預け先が見つからず用事をあきらめた」が 17.1%、「仕方なく子どもも同行させた」が 15.4%となっている。

親族・知人にみてもらった割合が多く、その日数をみると、「1日」が 17.6%、「2日」と「5日」がともに 15.4%など、「5日以内」で約7割を占める。



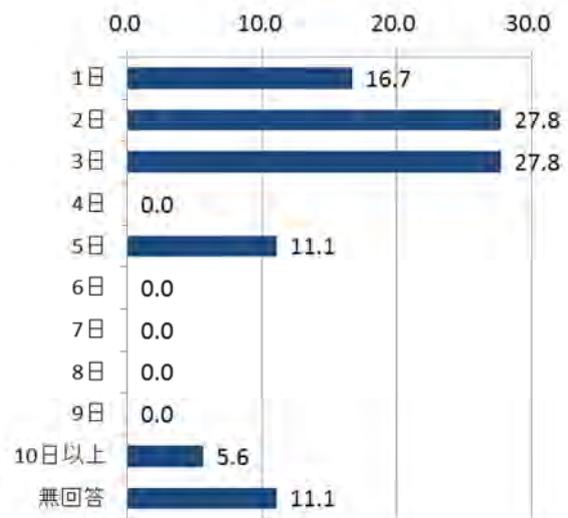
親族・知人

n = 91 (%)



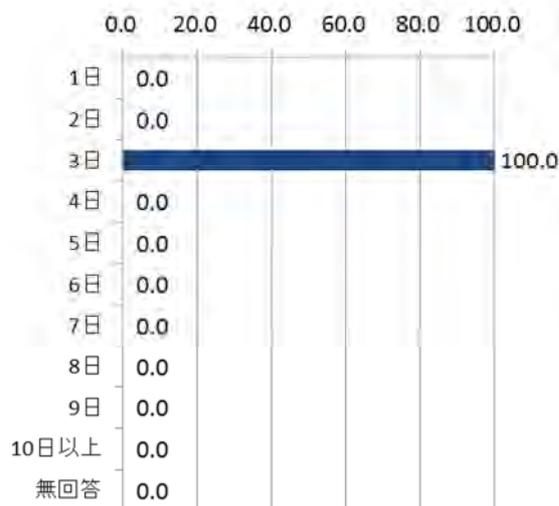
仕方なく子どもを同行させた

n = 18 (%)



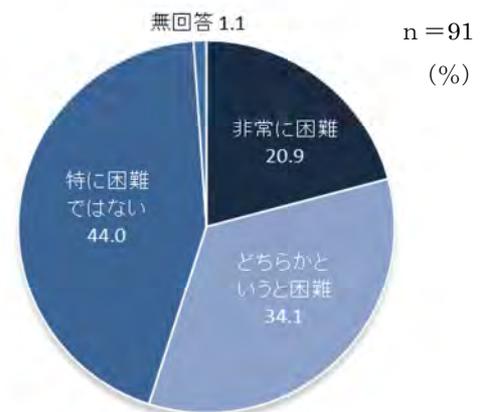
子どもだけで留守番

n = 1 (%)



問 22-1 で「1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」を選ばれた方にお伺いします。  
 問 22-1-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)

親族・知人にみてもらった場合の困難度は、「特に困難ではない」が 44.0%、「どちらかというと困難」が 34.1%となっている。何かしらの困難があったと考えられる、「非常に困難」と「どちらかというと困難」を合わせると 55.0%となっている。



## 10. お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方について

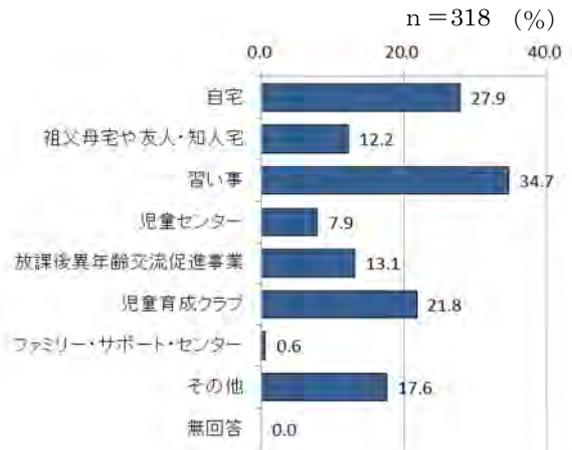
問 23 あて名のお子さんが、(1) 小学校低学年(1～3年生)と(2) 小学校高学年(4～6年生)のそれぞれの時期に、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「児童育成クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。

放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたい場所は、「習い事」が34.7%、「自宅」が27.9%、「児童育成クラブ」が21.8%となっている。

※「放課後異年齢交流促進事業」…就学した子どもたちの通いなれた学校施設等を活用して、異年齢児間の遊びを通じた交流を促進し、子どもの自主性、社会性等を養うことを目的とし、大人のスタッフの下、安全・安心な遊び場を提供するもの。

※「児童育成クラブ」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するもの。

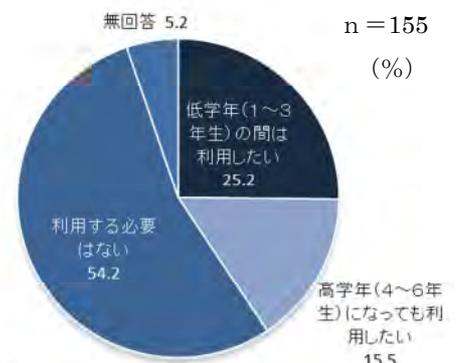


問 23 で「6. 児童育成クラブ」に○をつけた方にお伺いします。

問 24 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、児童育成クラブの利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

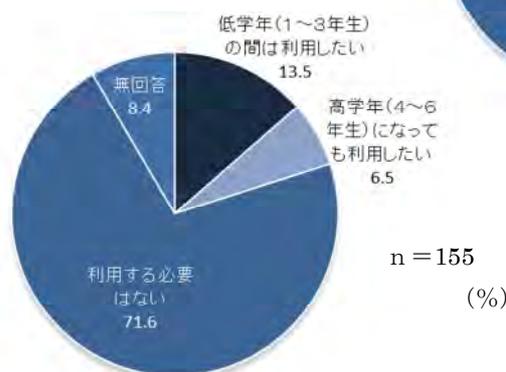
(1) 土曜日

土曜日の児童育成クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が54.2%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が25.2%となっている。



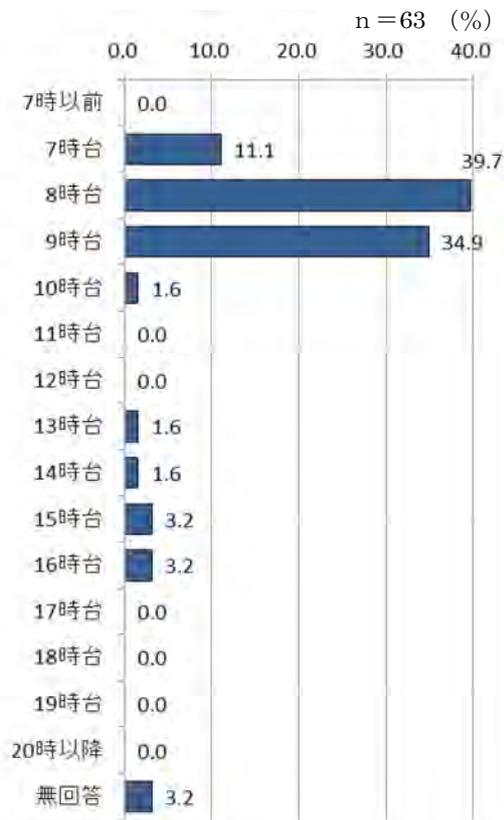
(2) 日曜・祝日

日曜日の児童育成クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が71.6%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が13.5%となっている。

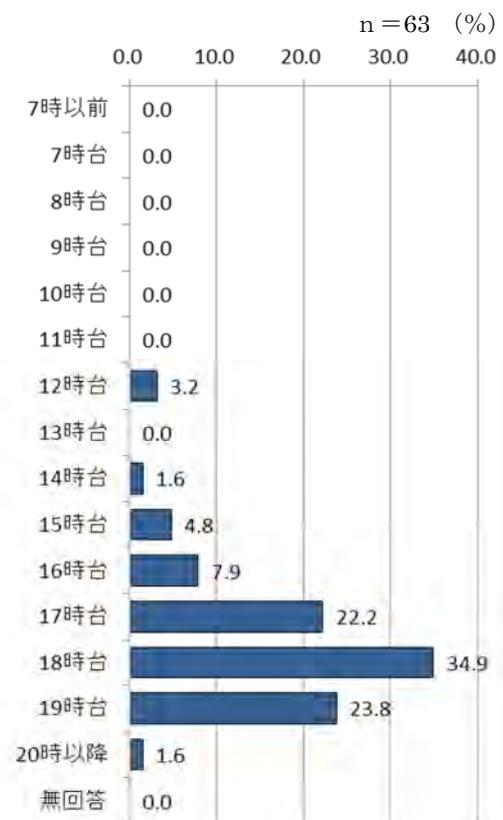


利用したい時間帯は、「土曜日」では開始が「8時台」から「9時台」、終了が「17時台」から「19時台」が多く、「日曜日」では「8時台」から「9時台」、終了が「18時台」から「19時台」が多くなっている。

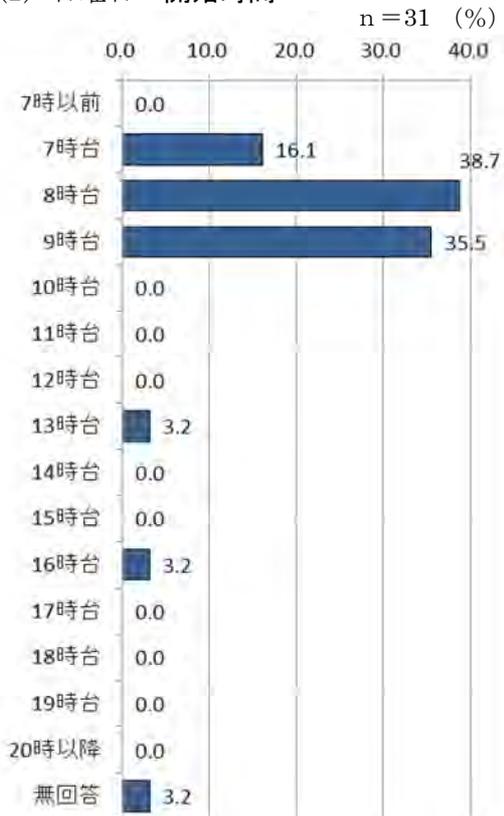
(1) 土曜日 開始時間



終了時間



(2) 日曜日 開始時間

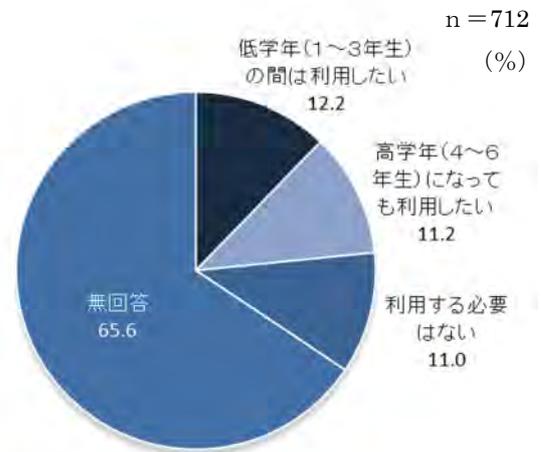


終了時間



問 25 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童育成クラブの利用希望はありますか。(あてはまる番号1つに○) また、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童育成クラブの利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が12.2%、「利用する必要はない」が11.0%となっている。



利用したい時間帯は、開始が「8時台」から「9時台」、終了が「17時台」から「19時台」が多まっている。

開始時間



終了時間



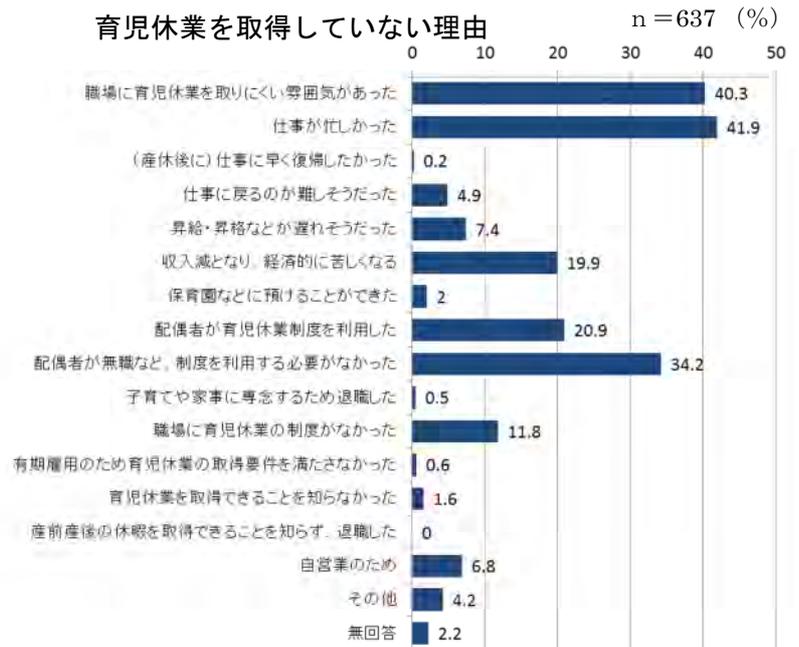
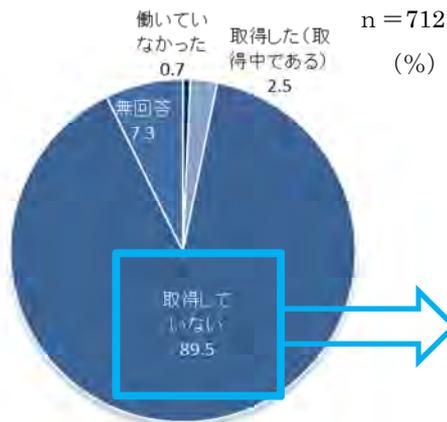
## 11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 26 あて名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業制度を利用しましたか。また、取得していない方はその理由を下表から選んでご記入ください。

### 【父親】

父親は、「取得していない」が89.5%、「取得した（取得中である）」が2.5%となっている。

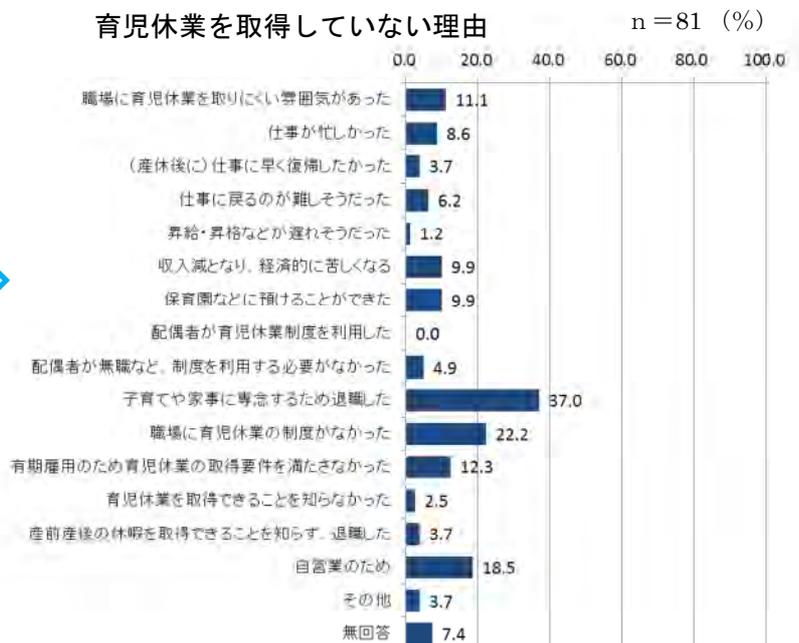
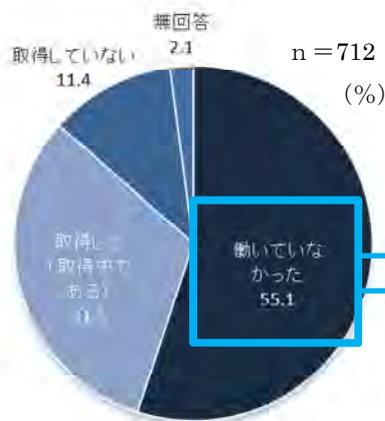
取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が41.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が40.3%となっている。



### 【母親】

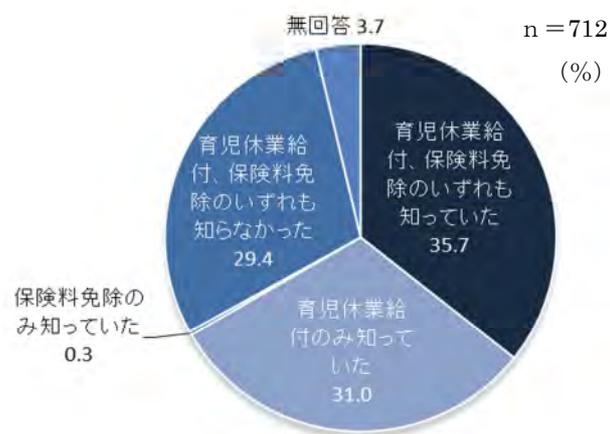
母親は、「働いていなかった」が55.1%、「取得した（取得中である）」が31.5%となっている。

取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が37.0%、「職場に育児休業に制度がなかった」が22.2%となっている。



問 26-1 子どもが原則1歳（保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（あてはまる番号1つに○）

育児休業給付及び保険料免除について、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が35.7%、「育児休業給付のみ知っていた」が31.0%となっている。

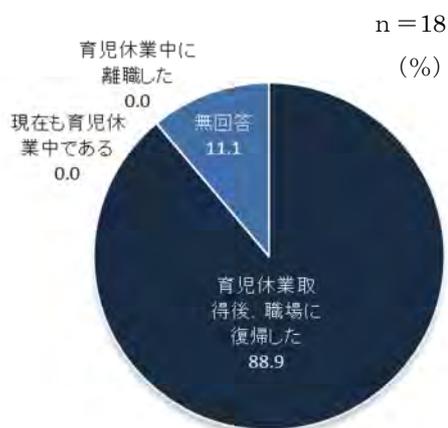


問 26 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にお伺いします。

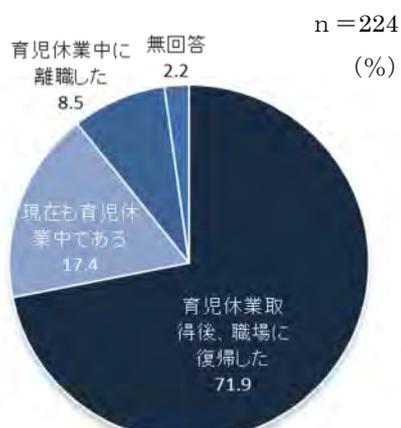
問 26-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれあてはまる番号 1 つに○）

育児休業取得後の職場復帰は、父親、母親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」が多く父親は 88.9%、母親は 71.9%となっているが、母親の 8.5%は「育児休業中に離職した」となっている。

【父親】



【母親】



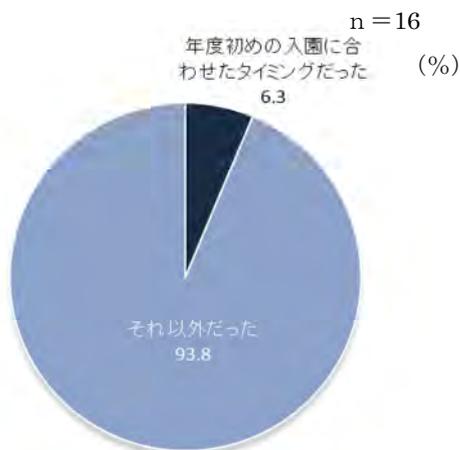
問 26-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にお伺いします。

問 26-2-1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（それぞれどちらか番号 1 つに○）

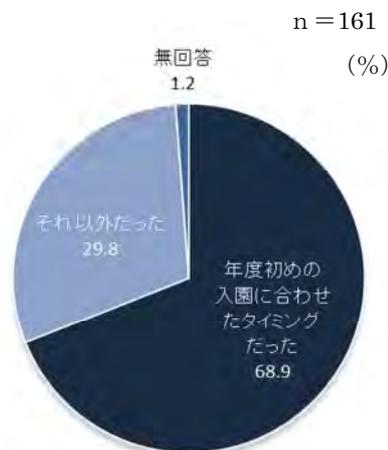
※ 年度初めでの認可保育園入園を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1.」にあてはまります。また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1.」を選択してください。

育児休業から職場に復帰したタイミングは、父親は「それ以外だった」が 93.8%、母親は「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が 68.9%となっている。

【父親】



【母親】



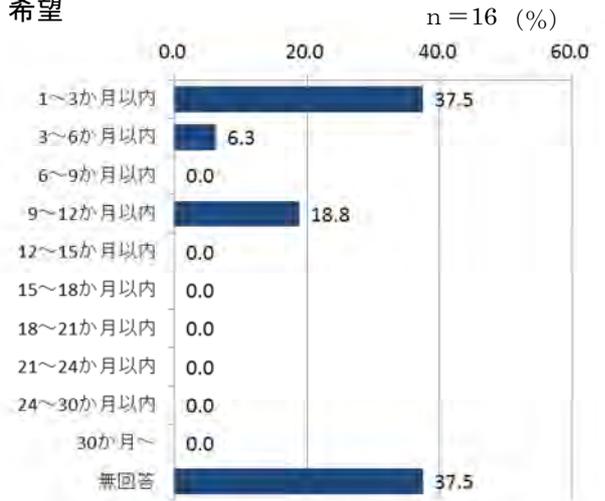
問 26-2-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。枠内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字） お子さんが1歳以上の場合も月に換算してお答えください。

父親の育児休業からの職場復帰した時のお子さんの歳は、実際の取得では「1～3か月以内」が43.8%、「3～6か月以内」が12.5%となっている。希望は「1～3か月以内」が37.5%、「9～12か月以内」が18.8%となっており、希望のお子さんの歳より早く復帰する傾向にある。

【父親】 取得

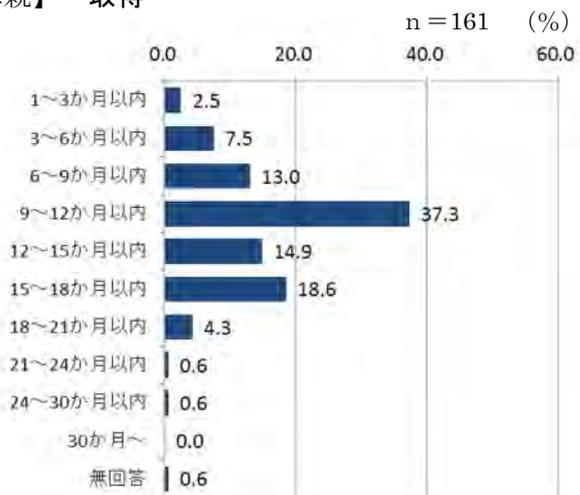


希望

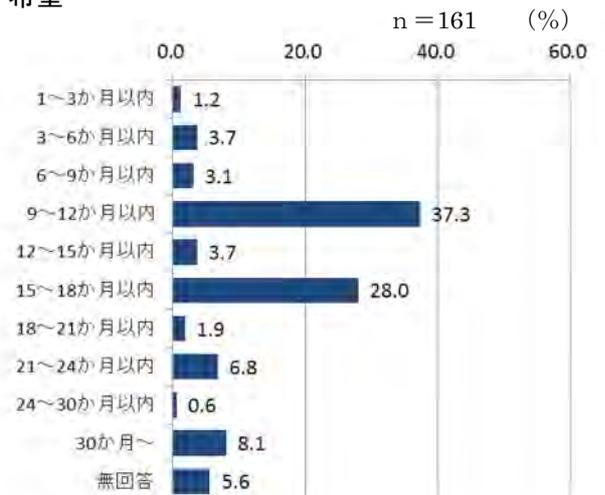


母親の育児休業からの職場復帰した時のお子さんの歳は、実際の取得では「9～12か月以内」が37.3%、「15～18か月以内」が18.6%となっている。希望は「9～12か月以内」が37.3%、「15～18か月以内」が28.0%となっており、「21か月以上」の希望に対して実際の取得は少なくなっている。

【母親】 取得



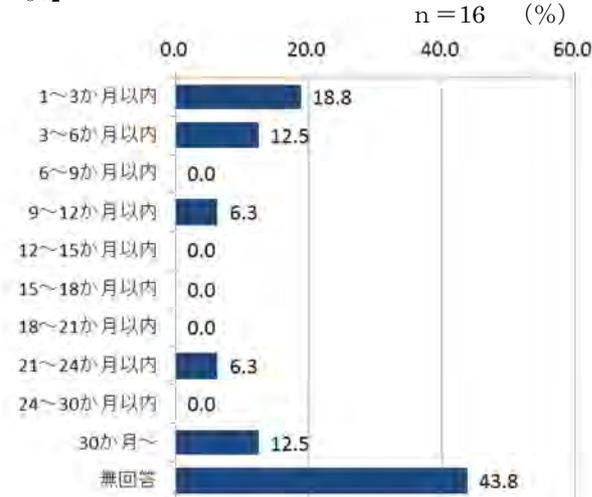
希望



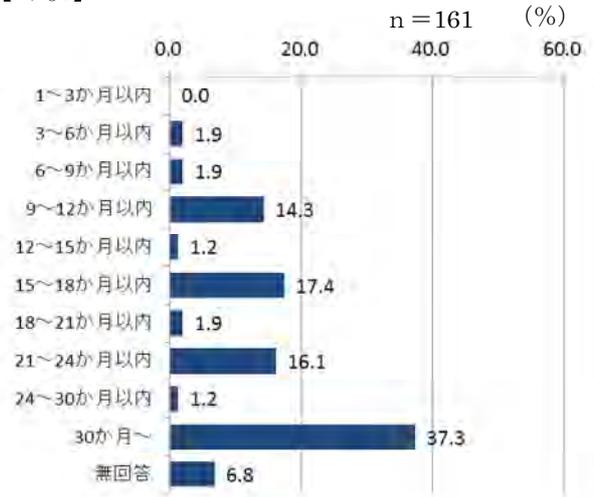
問 26-3 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。枠内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、お子さんが何歳何か月のときまで取得したかったかについては、父親で「1～3か月」が18.8%、母親で「30か月以上」が37.3%となっており、父親と母親で大きな開きが生じている。

【父親】



【母親】



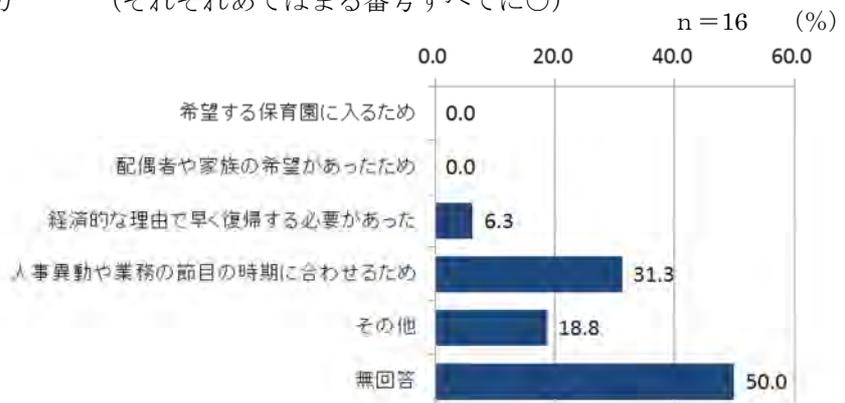
問 26-2-2 で実際の復帰と希望が異なる方にお伺いします。

問 26-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお伺いします。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (それぞれあてはまる番号すべてに○)

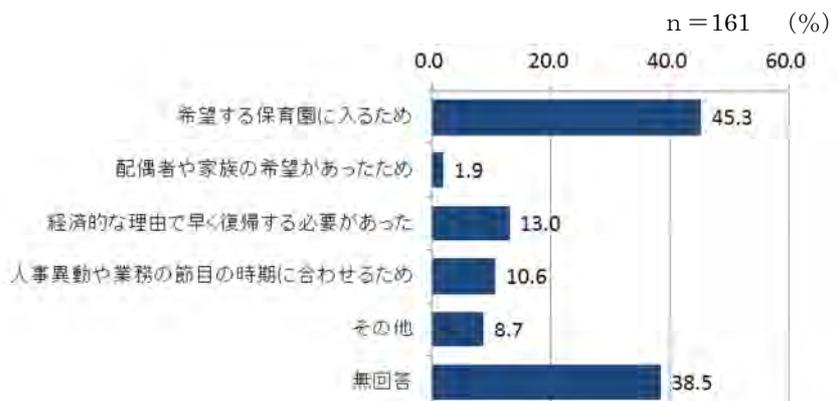
【父親】

希望より早く復帰した理由は、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が31.3%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が6.3%となっている。



【母親】

希望より早く復帰した理由は、「希望する保育園に入るため」が45.3%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が13.0%となっている。



(2) 「希望」より遅く復帰した方

(それぞれあてはまる番号すべてに○)

【父親】

希望より遅く復帰した理由は、「その他」が2.9%となっている。



【母親】

希望より遅く復帰した理由は、「希望する保育園に入るため」が9.9%で、「その他」が81.4%となっている。



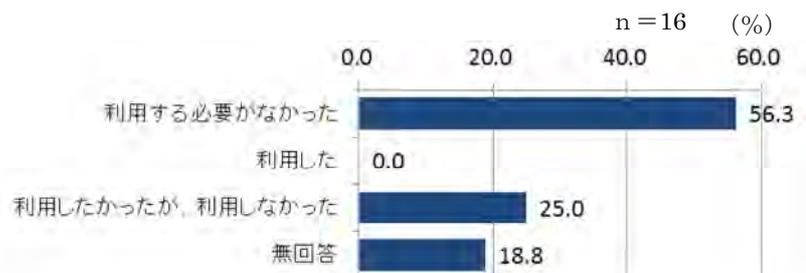
問 26-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。

問 26-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

(それぞれあてはまる番号 1 つに○)

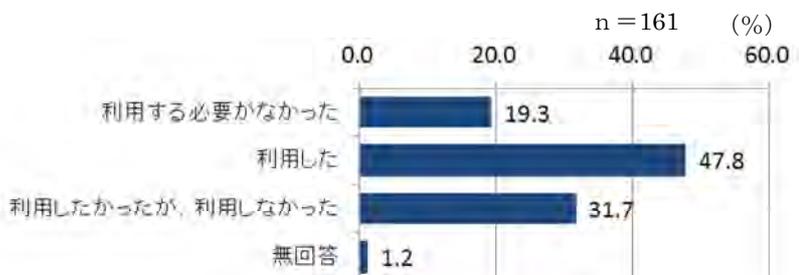
【父親】

職場復帰時の短時間勤務制度の利用は、「利用する必要がなかった」が56.3%、「利用したかったが、利用しなかった」が25.0%となっている。



【母親】

母親は、「利用した」が47.8%、「利用したかったが、利用しなかった」が31.7%となっている。

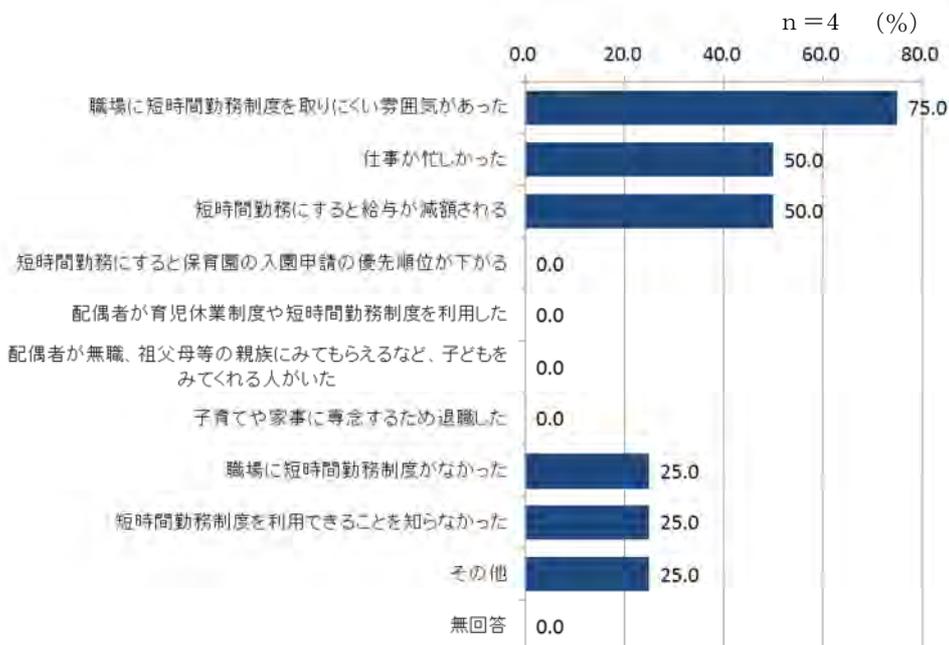


問 26-5 で「3.利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にお伺いします

問 26-6 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。  
（それぞれあてはまる番号すべてに○）

【父親】

職場復帰時の短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が75.0%となっている。



【母親】

職場復帰時の短時間勤務制度を利用しなかった理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が49.0%、「仕事が忙しかった」が39.2%となっている。



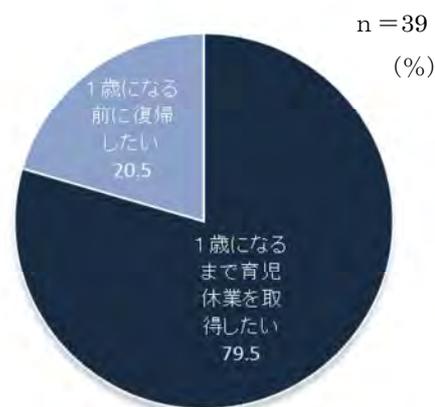
問 26-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にお伺いします。

問 26-7 あて名のお子さんが 1 歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1 歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる定期的な教育・保育事業があっても 1 歳になる前に復帰しますか。(それぞれあてはまる番号 1 つに○)

お子さんが 1 歳になったときの職場復帰は、「1 歳になるまで育児休業を取得したい」が 79.5%、「1 歳になる前に復帰したい」が 20.5%となっている。

母親

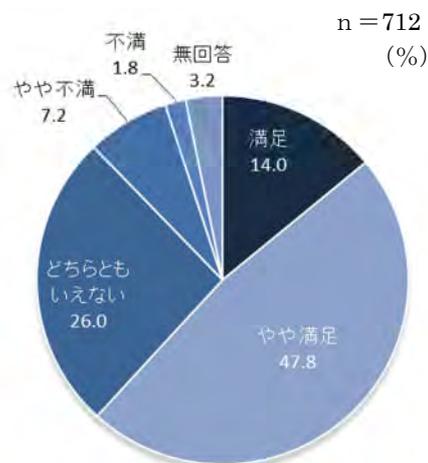
※父親の該当者はないため、グラフ化していない。



## 12. 子育てについて

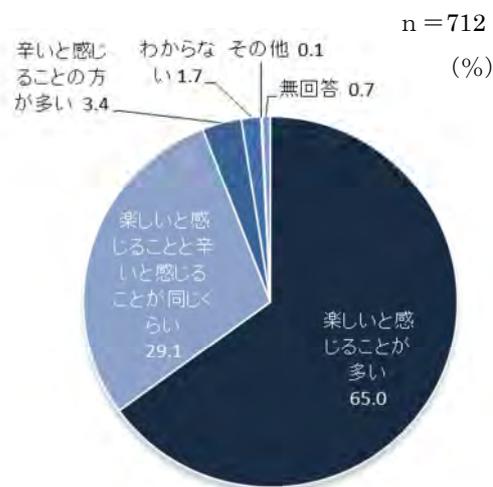
問 27 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号に 1 つに○をつけてください。

子育ての環境や支援への満足度は、「やや満足」が 47.8%、「どちらともいえない」が 26.0%となっている。「満足」と「やや満足」を合わせた「満足度」は 61.8%、「不満」と「やや不満」を合わせた「不満足度」は 9.0%となっている。



**問28 あなたは自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。(あてはまる番号1つに○)**

子育てを楽しいと感じるかについては、「楽しいと感じることが多い」が65.0%、「楽しいと感じることが多いと感じることが同じくらい」が29.1%となっている。



**問29 子育ての中で、日頃悩んでいることや困っていることはどのようなことですか。(あてはまる番号3つまで○)**

日頃悩んでいることや困っていることは、「子どもの健康、発育に関すること」が33.6%、「子どもの教育や学校に関すること」が33.1%となっている。



問30 子育てをする中で、子育ての辛さや不安感を解消するために、どのような支援・対策が必要だと思いますか。（あてはまる番号3つまで○）

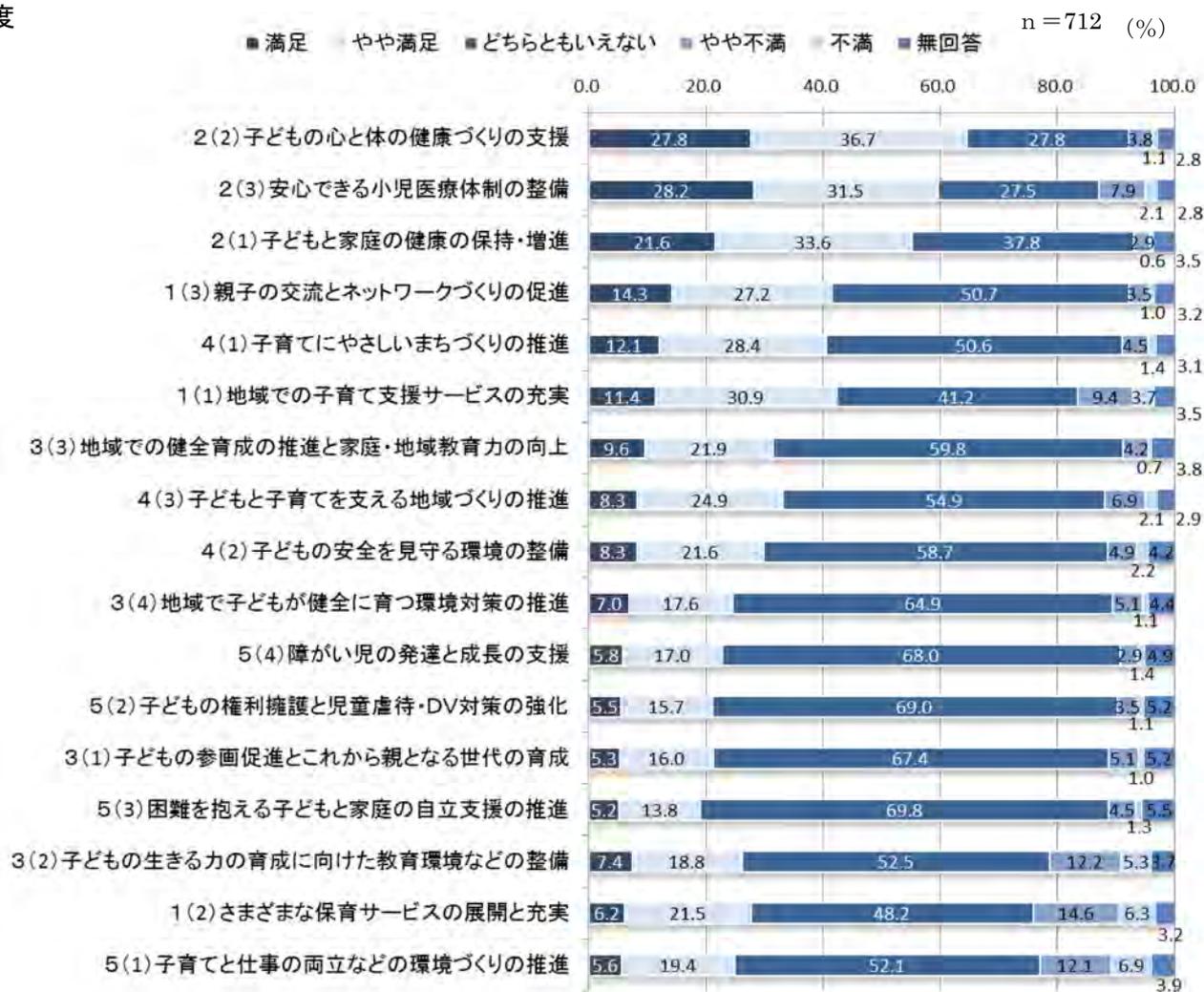
子育ての辛さや不安感を解消するために、必要な支援・対策は、「保育サービスの充実」が 43.8%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が 30.1%となっている。



問 31 市では、「浦安市子育て支援総合計画」により子育て支援の施策・事業を推進してきました。現在の子育て環境等をみたときに、それぞれの施策の推進状況の満足度、また、今後取り組む上で、それぞれの施策の重要性を選んでください。(項目ごと、満足度・重要性それぞれあてはまる番号1つに○)

各施策の「満足」と「やや満足」を合わせた満足度が高いのは、「子どもの心と体の健康づくりの支援」が 64.5%、「安心できる小児医療体制の整備」が 59.7%となっている。「不満」と「やや不満」を合わせた不満足度が高いのは、「さまざまな保育サービスの展開と充実」が 20.9%、「子育てと仕事の両立などの環境づくりの推進」が 19.0%となっている。

### 満足度



各施策の「重要」と「やや重要」を合わせた重要性の高い項目は、「安心できる小児医療体制の整備」が91.5%、「地域での子育て支援サービスの充実」が86.1%となっている。

### 重要度



満足度、重要度を回答の割合を重みづけした加重平均（計算式はグラフの下に記載）でみると、すべての項目がプラス評価となっている。

相対的に、満足度が低く重要度が高い施策については、重点的な取組が求められる。

### 満足度と重要度の加重平均

n = 712 (%)



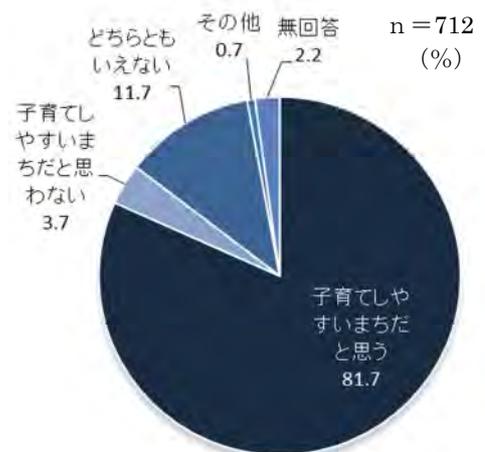
### 加重平均の算出方法（満足度の場合）

$$\text{加重平均} = \frac{(\text{満足} \times 2 + \text{やや満足} \times 1 - \text{やや不満} \times 1 - \text{不満} \times 2)}{(\text{満足} + \text{やや満足} + \text{やや不満} + \text{不満})}$$

※「無回答」を除いて算出している。

### 問32 浦安市は、子育てがしやすいまちだと思いますか。（あてはまる番号1つに○）

浦安市は子育てがしやすいまちかについては、「子育てしやすいまちだと思う」が81.7%、「子育てしやすいまちだと思わない」が3.7%となっている。

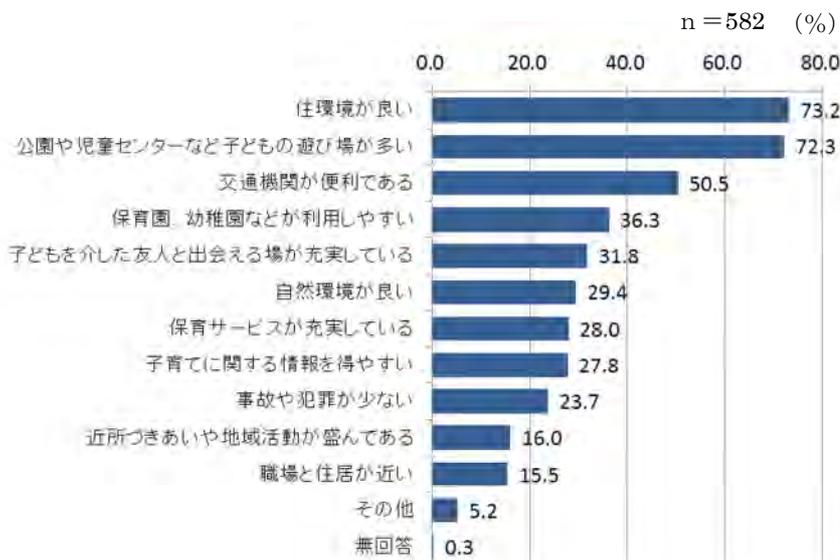


問32で「1. 子育てしやすいまちだと思う」を選ばれた方にお伺いします。

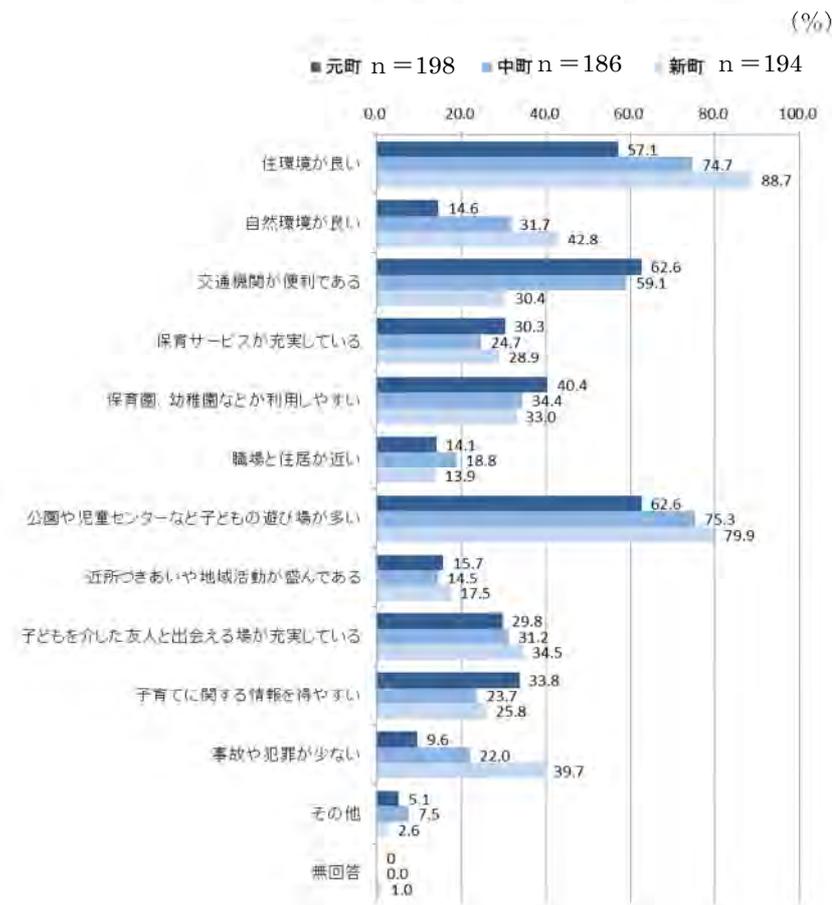
問32-1 「子育てしやすいまちだと思う」理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

子育てしやすいまちだと思う理由は、「住環境が良い」が73.2%、「公園や児童センターなど子どもの遊び場が多い」が72.3%となっている。

これら上位2項目は、地域で見ると「新町」で多くなっている。



地域別

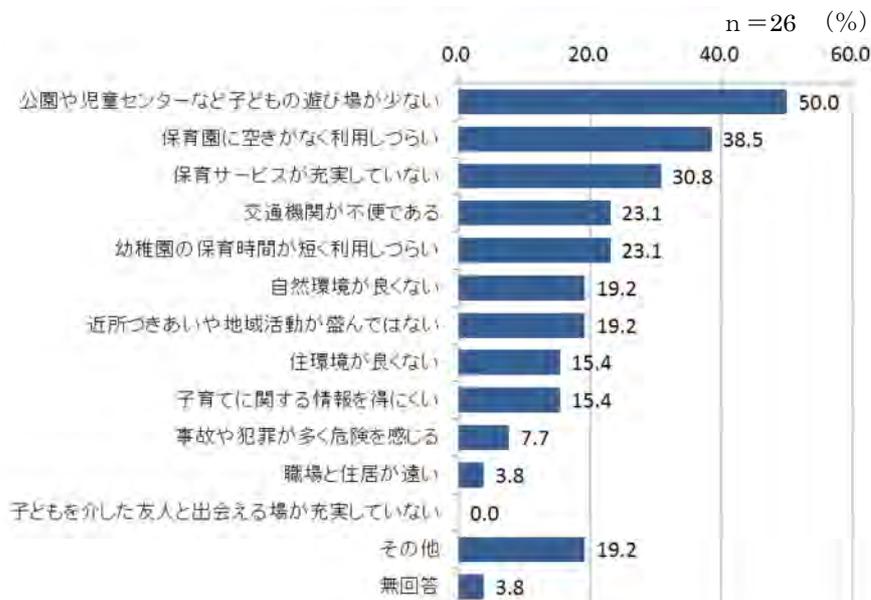


問32で「2. 子育てしやすいまちだと思わない」を選ばれた方にお伺いします。

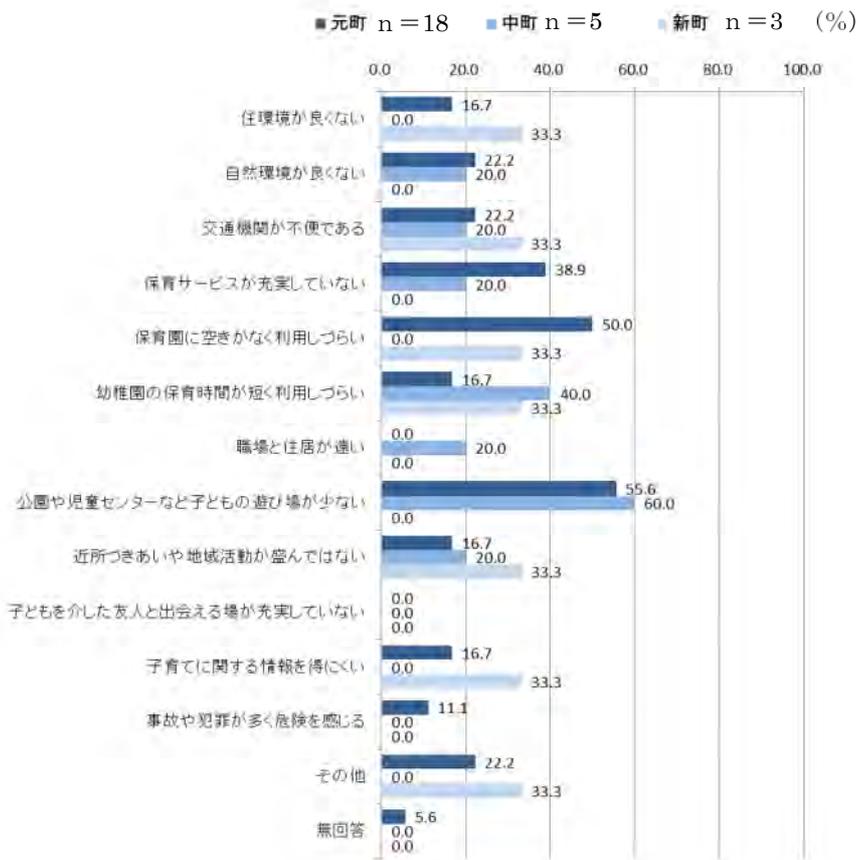
問32-2 「子育てしやすいまちだと思わない」理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに〇)

子育てしやすいまちだと思わない理由は、「公園や児童センターなど子どもの遊び場が少ない」が50.0%、「保育園に空きがなく利用しづらい」が38.5%となっている。

地域別では、子育てしやすいまちだと思わないと回答しているのが「元町」で多くなっている。



地域別



**問 33 あなたは、おおむね 65 歳以上の高齢者の方との交流の機会がありますか。**

(あてはまる番号すべてに○)

おおむね 65 歳以上の高齢者の方との交流の機会については、「交流したいが機会がない」が 25.4%、「近所づきあいで交流がある」が 24.3%となっている。



**問 34 あて名のお子さんには、高齢者の方との交流の機会があるとよいと思いますか。**

高齢者の方との交流の機会があるとよいかについては、「はい」が 85.7%、「いいえ」が 9.8%となっている。



504 人の記述があった。その一部を以下に紹介する。

**<はい>の理由**

- ・お年寄りに尊敬と優しい気持ちを持ってほしい
- ・年上の方との交流から心づかいが芽生えると思う
- ・高齢の方から学ぶことがあると思う
- ・高齢者に限らず色々な年代との交流は良いと思う
- ・ママがなごむと子もなごむから。お話をいっぱいききたいし、ママ友とは違い気持ち的に楽
- ・考えの違う人たちと接することができる
- ・昔の事を知る良い機会になると思うから
- ・地域全体が高齢化しているので、お互い助け合うなどの必要があると感じるから

**<いいえ>の理由**

- ・祖父母に会っているから
- ・子どもを通して親が交流をしたい
- ・親以外の大人との交流の機会は必要だが、高齢者である必要はない
- ・年齢的にまだ早いから
- ・必要性を感じない
- ・あえて機会を作ってやることではない。そういう形での効果は表面だけのことが多い
- ・地域の方との交流が絶対必要。それがまったくない

問 35 マタニティマークについてお伺いします。あなたはマタニティマークを知っていましたか。

マタニティマークを知っているかは、「知っていた」が 98.9%、「見たことはある」が 0.7%となっている。



マタニティマーク

